

地方史情報 105

2011年10月

熊野観心十界曼荼羅

小栗栖 健治

(前略)「観心十界図」は『円頓観心十法界図』をもとに成立したと考えられる図像である。十界は、迷界の六道と、悟界の声聞、縁覚、菩薩、仏の四聖により構成される。一般的な「観心十界図」は仏を頂上とする円の中に、左回りに菩薩、声聞、人、餓鬼、畜生、地獄、阿修羅、天、縁覚の十界を描く。地獄が、目連の母青提女が獄卒に申刺しにされ、目連に見せつける場面描写によって示されているところに特色がある。こうした十界を描いた図像群に、人の一生を表す老いの坂と、亡者を救済する施餓鬼供養等を描き込んだ「観心十界曼荼羅」がある。これが本書で取り上げる、「熊野観心十界曼荼羅」と通称される宗教絵画である。(中略)

本書の構成は図版編、論考編、資料編からなり、「熊野観心十界曼荼羅」とそれら理解するうえで必要と考えられる基礎情報の集成に努めた。図版編には熊野比丘尼の唱導絵画である「熊野観心十界曼荼羅」、そして、「熊野観心十界曼荼羅」と一具で伝来する「那智参詣曼荼羅」をはじめとする参詣曼荼羅、「浄土双六」、そして、「熊野本地絵巻」(部分)を収録した。さらに、老いの坂を描く作例、施餓鬼供養の場面を描く作例、熊野比丘尼の絵解きの場面を描く作例などの関連図版を併せて収録した。論考編では第一部と第二部に分け、第一部では「熊野観心十界曼荼羅」諸本の形式分類と図像の展開、持ち歩く掛け幅絵画の構造、物語を中心に述べた。第二部では、熊野比丘尼の実態、参詣曼荼羅との接点、熊野系「浄土双六」、観心十界曼荼羅の縁起など熊野比丘尼の唱導絵画の特質について述べている。資料編では、図版紹介した作例の折り幅や料紙寸法、また、箱書や裏書などの銘文を紹介している。

「熊野観心十界曼荼羅」は、物語を伴う地獄絵としては、わが国で最後に登場する図像である。そこには伝統的な、あるいは革新的な地獄の世界がさまざまに描きだされている。そうした地獄絵の図像は、どのように形成されてきたのだろうか、そして、わが国の地獄絵の発展においていかなる位置を占めるのだろうか。さらにまた、「熊野観心十界曼荼羅」を絵解きした熊野比丘尼は、日本人の来世観にいかなる影響を与えたのだろうか。人の生きざまを解く「熊野観心十界曼荼羅」、その広く深い世界を播いていきたい。

(小栗栖健治著『熊野観心十界曼荼羅』、2011.2、小社刊「はじめに」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハウスオブ恵庭105 渡辺隆方 TEL0123-34-2130 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条1丁目3-1-507 高木崇世芝方 TEL011-821-2831 年5000円

◇41 2011.5 B5 4p

第15回アイヌ語地名研究大会の開催決まる／アイヌ語地名サロンが開催される／役員会報告
図書・会誌・会報・論文などの紹介

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇325 2011.5 B4 4p

文化講演会(抄録)「アイヌ絵を読む—誰が何のために描いたか」五十嵐聡美
北海道の「天然記念物」に指定
空知大滝岫穴群／西別湿原ヤチカンバ群落地
今年度の道内文化財めぐり一箱根の文化財散歩
東日本大震災と文化財 舟山 廣治
23年度活動方針などを承認 第1回役員会／平成23年度通常総会
遠軽・白滝遺跡群出土品重要文化財に指定 国内最大の槍先形石器など
文化財の力 卜部 信臣

世界文化遺産への登録をめざして

(5)一ぱり縄文文化説明会

北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課

30周年行事を終えた「新十津川おどり保存会」 後木 満男
各団体の活動(14) 丸瀬布の走る林鉄SL 白煙は未来へのシグナル(2) 秋葉 實

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12 田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/

◇76 2011.6 B5 8p

遠くて身近な沖繩 橋本とおる
北の土木建築(上) 丹野 忠志
平成23年度定期総会を開く
受贈会報／事務局だより

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

◇243 2011.5 A4 8p

故郷いわての創生 佐藤 宏
平泉世界遺産に希望の光 安藤 厚
大震災の復興と鎮魂に
民俗芸能が支援 藤澤 清美
流出を免れた重要図書 佐々木勝宏
雫石の文化財 吉川 健次
文化財の被災調査
ネットワーク誕生
民俗芸能調査を終えて 日時 和哉

続平泉志(7) 開山中尊寺(下) 及川 和哉
22年度の収支決算 節約実り黒字
に 文化財愛護協会／郷土史学
習会始まる

◇244 2011.7 A4 8p

民俗芸能を支える道具
毛越寺の延年の舞「面さまざま」
平泉の世界遺産登録が成って 達増 拓也
平泉の世界遺産登録と今後 大内 豊
平泉の世界遺産登録を祝う 伊藤 敏男
「世界遺産」実現を契機に 相原 康二
地域と共に踊りをつなぐ 畠山 務
被災地の遺跡を訪ねて 熊谷 常正
続平泉志(8) 医王山毛越寺(上) 及川 和哉
平泉文化を江刺で見聞 郷土史現
地研修／新理事に四氏／古文書
「東北遊日記」読み下し講座始
まる

◆道鏡を守る会通信

〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

◇臨時号 2011.4 B5 2p

供養祭 例年通り開催 (70人参加)

◇91 2011.6 B5 4p

今年は「シンボウの年」が現実
高原山麓の和気清麻呂の末裔につ
いて 船生 史郎
国ゆずり神話に関わって 辻 正次
路豊水に関して 本田 義幾

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文
学部 日本史研究室 TEL022-217-6064

年4000円 1949年創刊
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/

◇116 2011.4 A5 151+25p 2100円

国事周旋と言路一幕末期秋田藩の

政治方針をめぐる対立から 天野 真志
殖産興業政策の転換と「富国」の
担い手—福島県安積郡郡山村の
地域振興 徳竹 剛
書評

菊地芳郎著『古墳時代史の展開
と東北社会』 木本 元治
岡田清一著『中世東国の地域社
会と歴史資料』 渡邊 俊
紹介
東北大学百年史編集委員会編
『東北大学百年史一 通史一』
『東北大学百年史二 通史二』
中野 良
『東北大学百年史三 通史三』
徳竹 剛

大会記事

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90
工藤一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇46 2011.5 B5 20p

特別寄稿 2010年度本県史学界の
歩み—近代・現代史を中心に 田口勝一郎
佐竹氏の転封先のなぜ秋田か 塩谷 順耳
秋田安東実季家臣長岡家の先祖に
ついて 長岡 幸作
用語解説 証人(証人制度) 半田 和彦
文献情報／催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

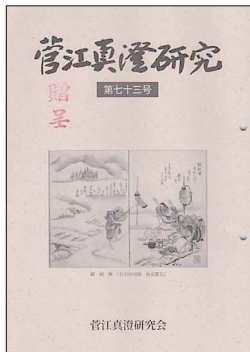
〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333

1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇73 2011.5 B5 54p

東日本大震災のお見舞い
『百白の図』と『ひなの一ふし』に
みる稲春 菊地 利雄
《ひなのひとふし》をめぐって 高橋 一夫
菅江真澄と奥北浦 大石 淳
菅江真澄と黄金伝説 田口 昌樹
菅江真澄と石川理紀之助 工藤 正行
研究ノート 菅江真澄が記録した
地震と津波 小笹 鉄文
随筆 おらほの真澄 佐藤 和子
真澄の一枚(5)
諏訪神社、酉の祭り 菊地 利雄
図書紹介

『なぜ和歌を詠むのかー菅江真澄の旅と地誌』錦仁著
『内なる他者のフォークロア』赤坂憲雄著
『真澄学』第6号 東北芸術工科大学・東北文化研究センター
『菅江真澄と小町伝説』小堀光夫著
菅江真澄の足跡探訪会の実施について／真澄短信



*小笹鉄文氏の研究ノート「菅江真澄が記録した地震と津波」は、菅江の体験と紀行の途中に地域で聞いた話に基づく記録を、『理科年表』のデータと照合して考察したもの。松

前、西津軽、象潟、男鹿における1700年代の地震や津波に加え、鴨長明『方丈記』中の1185年の地震も考証する。これまでも、古文書の調査や考古学研究により、大津波と原発の安全性について警鐘が鳴らされてきた。しかし多くは、自然科学の方面からは受け入れてこなかった。小笹氏も述べているように、その努力が実現しなかったのは悔やみきれないことである。しかしこれからは、歴史学の分野も史料に頼るだけでなく、科学的な検証をし、データで裏付けしていく必要がある。その意味において、この論考は大変に意義あるものと思う。

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報

〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇182 2011.4 B5 12p
ある小代官家の軌跡(上) 須崎 寛二
宮内熊野神社おぼえがき(3) 二
宮神社と三宮神社の再建願い 須崎 寛二
米沢藩、宝暦の改革志向
ー第204回学習会から

◇183 2011.6 B5 12p
ある小代官家の軌跡(下) 須崎 寛二
宮内熊野神社おぼえがき(4)
続・台林院住職法田について 須崎 寛二
明治初期の「受持訓導」と伝習校 須崎 寛二

第205回学習会報告
明和・安永の改革と北条郷

◆季刊東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
(発売：柏書房) 〒990-9530山形県山形市
上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇27 2011.5 A5 235p 1905円

《特集 いくつもの日本の神話へ》
座談 多彩な神々が活躍する列島の神話ー地域の神話群と物語へ
変容する記紀神話

保立道久／赤坂憲雄／入間田宣夫
アマテラス神話の中世 佐藤 弘夫
鎌倉幕府の草創神話ー現代人をも
拘束する歴史認識 川合 康
平泉の神話 斉藤 利男
中世村落の草創神話 藺部 寿樹
千葉大王子の物語によせて 入間田宣夫
大内氏の祖先神話 伊藤 幸司
いくつもの神話と火山ー邪馬台国

・アマテル・高千穂 保立 道久
徳川将軍家の草創神話 曾根 原理
東北民衆史の水脈(最終回)『銀河鉄道の夜』をめぐってー保阪
嘉内・宮沢賢治・前原寅吉 色川 大吉
民俗学の眼(8) 消えた馬影ー景
物からの民俗週及(4) 野本 寛一
東シナ海の古層(7) 「呑みこむ」
行為ー(平島語字典)から 稲垣 尚友
鳥からのことづて(3) 西表島の
女性の暮らしー網取材の思い出
安溪貴子／安溪遊地
アジアの風のなかで(7)

週上する魂 木村 文
あの頃のこと(5) 二十歳の夏(1)
金 利恵

転換期の中の津軽学ー六年の意義
をふりかえって(地域学) 山下 祐介
合戦における兵士の実態(書評) 小久保嘉紀
連載・写真曼荼羅(10) 新鋭篇(4)
山形県鮭川村 腰高直樹／内藤正敏

◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内
東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇52 2011.3 B5 200p

政宗謀反の噂と徳川家康 平川 新
近世墓標・過去帳・系譜類にみる
武家の家内秩序と「家」意識 瀧谷 悠子
近世後期、高抜地負高請をめぐる
幕府代官所、村と地主集団ー出
羽国村山郡日和田村を事例とし
て 森谷 圓人
帝国議会の開設と地域有力者ー岩
越線の官設第一期線運動を事
例に 徳竹 剛
細石刃集団による地点間の活動差
鹿又 喜隆

東北諸方言アスペクトの捉え方 津田 智史
青森県五所川原市方言における質
問の文末形式ー文末形式「ナ」
と「バ」の用法と意味・機能 田附 敏尚
東北地方の民話に見るオノマトベ
後接辞「テ」「ト」の用法 川越めぐみ
地域社会の皇族表象ー昭和10年代
・青森県を事例に 茂木謙之介

◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇47 2011.5 B5 48p
《特集 いま、問われているものは何か》
一万年の歴史から日常性を問う

入間田宣夫／田口洋美／安斎正人
震災と文化財レスキュー 竹原 万雄
復興会議ー(3.11世代)のフィール
ドノート 宮本 武典

平成22年度文部科学省オープン・
リサーチ・センター整備事業
「東北地方における環境・生
業・技術に関する歴史動態的総

合研究」公開講座 マグロ漁
とクジラ・イルカ猟 中村 只吾
池上冬樹の東北文学雑感(7) 大
震災という戦争。“戦場”を前
にしての言葉の陶醉と無力。一
東日本大震災によせて 池上 冬樹
古文書解説405号室(3) 隣人を救
うという行為について 中村 只吾
考古学者が映画を観ると(7)
アラカルト 安斎 正人
リレーエッセイ「東北を撮る」(5)
映画『ミツバチの羽音と地球の
回転』から学んだこと 渡辺 智史
東文研アーカイブス通信 ブック
レット『東北一万年のフィール
ドワーク 小玉川』刊行 岸本 誠司
インフォメーション
特派員レポート(6) 好奇心解放
Ⅱ『真澄学』編集実務を担当し
て 井筒 桃子
『真澄学』紹介
表紙を飾るアーティストたち
鈴木隆史
地域誌だより(20)
救いは、人の勇気とやさしさ 杉山 陸子
映像でたどる『みちのく異界遺
産 やまがた篇』 滝沢真喜子
『仙台学』緊急刊行 「東日本大
震災」 千葉 由香
震災後の会津 菅家 博昭

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0821山形県山形市北町3-3-45
市村幸夫方 TEL023-684-5708
年3000円 1988年創刊
www.chance.gaiax.com/home/imichiaki

◇25 2011.6 B5 122p

東日本大震災の年に迎えた本会発

足25周年 野口 一雄
地獄を絵解く「熊野の絵」
一北村山地方の例を中心に 小栗栖健治
「ほねからはさみ」についての一
考察 鹿間 廣治
文書に見る宝沢村人の生活 會田 庄一
心経会とカンジョウ板
一中近世武家社会の習俗 三上 喜孝
死者を描いた「絵馬」の可能性 小田島建己
月山神社「御詠歌奉納額」につい
て 横尾 尚寿
地域の若者中組織の変遷
一上萩野戸村の一例 村山 正市
葉山信仰の諸相(4)
一山形県外のハヤマ信仰 鈴木 聖雄
記憶三題一岡本太郎が来た蕎麦屋
・祖父の実家・震災の日 志賀 祐紀
鮭の大助譚の始原考
一怨霊としての鮭の大助 村田 弘
會田家「天保九年日記」にみる農
事暦 野口 一雄
再び「彫刻・刻彫」と彫られた供
養塔のこと一置賜地方の仏像と
石塔を中心に 加藤 和徳
大江町の前句寄掛額と青苧生産 菊地 和博
蕪村資料にみる江戸期の怪異趣味
相原 一士
震災復興と民俗学 岩鼻 通明
宝沢のシシ踊り一五穀成就朝日踊
市村 幸夫
研究ノート 羽山ごもり体験記 居駒 永幸
山形県立博物館資料紹介
百姓生活百年記 秋葉 正任
聲一四半世紀を振り返って

関 東

◆茨城史林

茨城地方史研究会(発売:筑波書林)

〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14
年2000円 1972年創刊
◇35 2011.6 A5 146p 1048円
ふたたび歴史的地名の消失につい
て 佐久間好雄
古代常陸新治郡月波郷について 久信田喜一
要害から城郭へ一文書に見る山尾
城とその城下 笹岡 明
国人領主多賀谷氏の政治動向
一両属と分立を中心に 古澤 一巳
享保・元文期における小貝川・鬼
怒川再合流問題 飯島 章
関東取締出役と大惣代一柿岡村
五十三ヵ村組合村大惣代の内済
を中心として 栗原 亮
利根町満徳寺の新四国霊場「四郡
大師」 近江 礼子
北辰一刀流千葉家を語る あさくらゆう
「音学者」吉原規
一その生涯と業績について 金子 未佳
新刊紹介 植田敏雄『常陸国麻生
藩の研究』

◆下妻の文化

下妻市文化団体連絡協議会
〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349
TEL0296-43-3418 1976年創刊
◇36 2011.5 A5 175p
特別寄稿
まちづくりの抱負 稲葉 本治
己に克った金メダル 塚田 真希
中村不折と「為桜」 横倉 和夫
下妻は第二の故郷です 折戸喜美男
子どもと共に・子どものために
武笠 昇

博物館への想い 石浜 義則
生涯教育における図書館の役割
外山 一夫

文化会館の役割と鑑賞型自主文
化事業の意義 菊地 貢
最近の中国現代美術を観て 田所 政江
随想編
奉仕一滴 小倉 敏雄
パパヤニチカ 外山 崇行
膽波ノ江(9) 角田 惟也
母校の歴史を訪ねて
一樹木が語る学校の歴史 中島 成行
きれいな日本語を話そう 島田 武男
平常心これわが道 柳 操
わが俳優体験記一映画『レオニ
一』に出演して 人見 健一
私とブログ 近藤 久雄
ねぎと効力 角田 茂雄
趣味悠々 井上 譲
増上寺に所在する井上下妻藩主
寄進の石燈籠について 佐久間秀樹
露店の漫画本 鈴木 賢一
将棋悠々(13) 鈴木 和順
不図思う 大野 勇
「昔の話」
一昭和は遠くなりにけり 國府田 晋
遠足・筑波山登山の思い出 千勝 弘巳
里山に思いを巡らして 神郡 あさ
「下妻街道」を広めよう 菊地 正行
報 告
平成22年度“活動記録” 各 団 体
北総の小江戸「水郷・佐原」研
修視察 横瀬 靖彦
一年のあしあと 寺田 陽子

◆長塚節の文学 長塚節研究会

〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊

◇17 2011.4 A5 78p 1000円

長塚節と伊藤左千夫の東京葛飾の
「吉野園」の歌碑 松野 高尚

長塚節の三品に表れた社会性と戦争の意識について—近代文学作品の成立 桐原 光明
 色彩医学における長塚節の文学研究—短歌を中心にして 岩渕 憲弥
 節と旅の歌(1) 飯塚 知子
 「櫟の歌」 安田 暁男
 子規・節・茂吉の「感情的写生歌」または「写生的主情歌」の継承—長塚節は単なる写生派歌人ではない(後) 松野 高尚
 長塚順次郎とベースボールについて 河合 宏

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
 ◇74 2011.6 A5 98p
 『大日本史』の今川了俊伝について 梶山 孝夫
 日本史上に鑑みる大震災—特に東北地方と常陸国を中心として 但野 正弘
 天領日田の一風景—三絶僧・平野五岳と明治維新 矢野 宣行
 義公の足跡を訪ねて(21) 住谷 光一
 「東日本大震災」に海外から寄せられた惻隠の情 松井 典夫
 遺稿 水戸学の準拠—神皇正統記にもとめられしもの 名越 時正

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 ◇79 2011.4 A4 4p
 《特集 栃木県北ゆかりの人物》
 戦国末期から江戸初期を生き抜いた那須資晴の足跡 荒川 善夫
 農政家鈴木武助正長 小林 聖夫

三島通庸 金井 忠夫
 新刊紹介 大澤伸啓著『樺崎寺跡』(日本の遺跡41) 2010年 齋藤 弘
 古文書・古典籍を読む(17) 朝鮮種人参再作につき薬種屋茂兵衛返答書 仲沢 隼

◆ぐんま地域文化 (財)群馬地域文化振興会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346

◇36 2011.5 A4 36p

《旧吉井町地域特集》

歴史を掘る 元総社蒼海遺跡群出土の中国製青白磁梅瓶 山下 歳信
 地域の文化 市川 浩史

第18回 石川薫記念地域文化賞

功劳賞 石原征明／研究賞 淡路博和／奨励賞 関口荘右

発掘情報 吉井川下宿遺跡 飯田 陽一

図録 ぐんまの文化財

多胡郡建郡1300年 大工原美智子

ぐんまの歴史入門講座

第120講 吉井町の原始古代

—多胡郡建郡をめぐる— 茂木 由行

第121講

室町幕府奉公衆近江小串氏 梁瀬 大輔

第122講 分割支配された村々 中嶋 義明

第123講 吉井の近代化に関する

事例—交通と産業 中嶋 義明

第124講 高崎市吉井町の石造文

化財 石造物の見方(25) 秋池 武

古文書解読入門講座(23)—古文書

から歴史を読む 支配を支えた

人々 中嶋 義明

地域づくりと文化遺産 特別史跡

多胡碑と多胡郡建郡1300年記念

事業 小泉 範明

ぐんまのくらしと民俗 フォーク

ロア創出の近代—渡来人羊太夫像の形成 佐藤喜久一郎

ぐんまの地方豪族

多胡荘と多胡氏 久保田順一

ぐんまの伝統 馬庭念流について 神保 侑史

ぐんまの人物誌 等松農夫蔵 久保信太郎

ぐんまの地名 牛伏山に登る 齋藤 憲衛

研究・学習サークル活動紹介

吉井郷土資料館友の会 長谷川寛見

出版情報 田中康雄編『江戸商家

・商人名データ総覧』全7巻 事務局

ぐんまの自然と風土

鍋川が造った吉井の大地 高橋 武夫

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8

小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊

◇76 2011.4 B5 8p

大泉町とその周辺の「地名」あれ

これ(1) 茂木 晃

平成22年度事業報告／平成22年度

収支決算報告／平成23年度事業

計画／平成23年度収支予算(案)

◇77 2011.5 B5 6p

大泉町とその周辺の「地名」あれ

これ(2) 茂木 晃

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26

群馬県立文書館内 TEL027-221-2346

年4000円 1957年創刊

members3jcom.home.ne.jp/gunmabunka/

◇306 2011.4 A5 54p

真田氏統治下沼田領の耕地開発に

ついて—高平村・生枝村を例に

藤井 茂樹

佐藤錠太郎と郷土史研究 八木 啓次

動向 群馬現代史研究会の発足に

ついて 大沼 久夫

文化財レポート

広瀬川低地・蕪川右岸から見つ

かった遺跡—伊勢崎市阿弥大

寺本郷遺跡の発掘調査 矢口 裕之

国指定史跡 高山社跡 寺内 敏郎

国指定重要無形民俗文化財

春嶽祭 根岸 朋子

随想

群馬県の郷土教材の開発研究 山口 幸男

文化財人生 水田 稔

新刊紹介

新井小夜子著『養蚕語彙の文化

言語学的研究』 落合 延孝

大間々扇状地研究会編『共同研

究 群馬県大間々扇状地の地

域と景観—自然・考古・歴史・

地理— 石原 征明

榛名町誌編さん委員会編『榛名

町誌 資料編1 原始古代』 深澤 敦仁

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1

TEL027-223-2785 年4500円

◇219 2011.5 A5 56p

《特集 群馬のお城》

特集「群馬のお城」にあたって 飯森 康広

中世総社城に関する資料 飯森 康広

長野方業は業政か? 飯森 康広

前橋城 黒沢 照弘

入沢城 佐藤 征男

片田舎のプロジェクトX 松本 孝義

高山彦九郎日記による歴史散歩

(26) 『丁酉春旅』(6) 正田 喜久

「赤石古書」街かど歴史資料室 赤石 幸夫

箕輪城の歴史探訪『箕輪軍記』口

語私訳(2) 大塚 實

お知らせ 投稿特集の原稿募集
れきさんサロン

郷土カルタの活用にもた新事業

加藤 鶴男
短歌 鹿島への旅 大崎 岸子
絵手紙で歩く 上毛かるた(42) 小林 生子
歴史散歩の震災 山崎 正
支部だより／歴史散歩の報告

◆上州文化 群馬県教育文化事業団

〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22

TEL027-224-3960 1980年創刊

www.gunmabunkazigyodan.or.jp

◇126 2011.5 A4 14p

巻頭言 山口 悟

世界に二つの縁切寺 井上ひさし

『東慶寺花だより』を読む 高木 侃

上野東歌探訪 北川 和秀

群馬県教育文化事業団

INFORMATION

地域文化をつなぐ 石井 節子

漆の魅力 千葉 功

カフェの隅から ふるさとの色 竹田 朋子

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4

◇126 2011.6 B5 4p

広瀬川と荒砥川の合流点 関口 功一

老い入れの目標 板橋 春夫

会員異動／創立30周年記念シンポ

ジウム「歴史・民俗からみる環

境と暮らし」

◆郷土とはがや 鳩ヶ谷郷土史会

〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21

花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊

◇67 2011.5 A5 138p 1000円

巻頭言 歴史的な文化遺産を大事に

しなかつた鳩ヶ谷

表紙の写真

大熊氏廣とラゲザの邂逅 平野 整

御鷹場と鳥獣保護員制度 藤波不二雄

元禄検地帳と半小・半・小 加藤 信明

保正寺(法性寺)二世震辰景春禪師

と震辰派(5) 若松 哲夫

現代より後世へ伝え残したい人を

訪ねて(4) 鳩ヶ谷市民短歌会

の二十年 同時代史探訪書留部

鳩ヶ谷史譚(11)

鳩ヶ谷のいちばん長い夏 平野 整

市文化財だより(15) 鳩ヶ谷の郷

土資料館と発掘30年その徒然な

るままに 浅野 信英

鳩ヶ谷の自然

鳩ヶ谷市のタンポポの変遷 藤波不二雄

鳩ヶ谷の生物(13)

クイナの仲間 藤波不二雄

古書耽読書留抄 『埼玉史談』の鳩

ヶ谷八景と小唄 スモール.h.グテイ

郷土史会見学会参加記

雨引観音と白壁の街「真壁」を

訪ねる 嶋田 文子

真壁城址と真壁の登録文化財 篠田 常子

荷風と鳩ヶ谷(上)

一『溷東奇譚』について聊か 金井 英一

地藏院の歴史の古さを物語る生き

た証拠「楯」 小室 雄充

モクチン・ホテルのこと 高瀬 博

一枚の写真 花岡 武司

小谷三志をめぐる人々(64)

『鳩ヶ谷市の古文書』遺憾 岡田 博

草加・旭神社の算額 米山 徹

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会

〒350-0231坂戸市泉町12-5 大園口承方

TEL049-281-4983 年4000円

◇305 (58-1) 2011.4 A5 52p

戦国期鉢形領成立過程における

「一乱」 伊藤 拓也

中世集落立地の背景と沿革(中)

一土地利用の実態を中心に 大園 口承

秩父神社の棟札について(3) 栗原 一夫

武州秩父雑話(9)一藤田家五代(3)

藤田信吉(1) 大野 鴻風

観智国師 源誉存応の誕生の地に

ついて 由木 義文

岩槻の神と佛・二題 大熊 晋一

資料紹介

熊谷市新堀の中村正行顕彰碑 奥田 豊

表紙写真解説 六字名号笠塔婆

(本庄市児玉町小平岩谷洞)

口絵写真解説 伝・難波田弾正忠

所用替模写図

受贈図書案内

第619回 鳩山町見学

第620回 研究発表会

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18

埼玉県立図書館内 TEL048-865-0112

年3000円 1975年創刊

◇64 2011.3 A5 48p

大里郡と大里条里 森田 悌

鎌倉幕府の政所と武蔵国務 菊池 紳一

鎌倉期における河越氏の活動形態

一次郎流と三郎流の動向 山野龍太郎

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29

TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊

www.l.pbc.ne.jp/users/sekibutu/

◇138 2011.6 A5 80p 2100円

巻頭随想 どくだみの咲く季節

一混迷の世相のさなかに 坂口 和子

《特集 石仏探訪Ⅹ》

善光寺銅仏六地藏の系譜

一修験者 祐昌を追って 岡村 知彦

ぶらり石仏紀行

一国東半島の旅 たなかよしゆき

幕末の大津波と石造物

一伊豆・下田市の津波供養塔 田島 整

平成の葉山町一色の庚申講 森永 五郎

二基の石棺 三明 弘

千葉県の花見堂地藏について 中上 敬一

庚申待板碑の初発について一飯能

市上名栗・庚申講銘板碑の検討

縣 敏夫

石仏エッセイ

東日本大災害とあの石仏たち 門間 勇

石仏ことはじめ—ごちゃごちゃ

の人のひとりとして 貫井 薫

名号塔の知識(6) 岡村 庄造

「石」を知る(28) 小松 光衛

石燈籠入門(48) 嘉津山 清

石仏写真と私(28) 杉本 康希

あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

平井一雄／石田年子

会員の広場 黄瀬三朗／前川勲

井戸寛／水野英世

一泊石仏見学会報告 箱根・伊東

・真鶴の石仏めぐり 前川 勲

「石仏写真展2011」報告 中森 勝之

はがき通信 新井るい子／中森勝之

石仏談話室／石仏交流

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会

〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵

野学院大学国際コミュニケーション学部

神野潔研究室 TEL04-2954-6131 2008年創

刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/

◇19 2011.4 A5 28p 300円

千葉県香取市佐原を訪ねて 渡邊 大門
 2011年3月11日の前と後
 ー千葉県香取市佐原地域
 ◇20 2011.5 A5 20p
 軍勢の「勸進」
 北畠親房の書状を読みなおす 呉座 勇一
 「宇喜多中納言殿在京中御臺所諸
 事御遣用事」について 渡邊 大門
 書評 渡邊大門著『戦国期赤松氏
 の研究』（岩田書院、2010年4月）
 小川 誠
 日本史料研究会会報『ぶい&ぶ
 い』（無為無為）総目録

◆昔風と当世風 古々路の会
 〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
 津山方 TEL048-976-9387 1973年創刊
 ◇95 2011.4 B5 72p
 《群馬県伊勢崎市境島村地区合同調査特集》
 伊勢崎市島村地区の川の民俗 鈴木 秋彦
 伊勢崎市島村合同調査を終えて 谷川 隼也
 田島健一家屋敷取り 坪郷 英彦
 日常生活空間に同居する祖先 森 隆男
 境島村の養蚕家屋 宮崎 勝弘
 蚕種の里“島村”探訪 早瀬 哲恒
 伊勢崎市島村の食と衣から 丸山 久子
 ♪公民館で逢いましょう♪ー群馬
 県、島村青年団・公民館結婚・
 産育 むらき数子
 島村のキリスト教 折橋 豊子
 島村とキリスト教 財津 直美
 島村・養蚕農家の施設と水回り 神 かはり
 利根川と向きあう人びと
 ー島村の大水の記憶 松田香代子
 利根川の恵みと脅威
 ー群馬県伊勢崎市境島村 津山 正幹
 ニュースから(1)～(4)／合同調査
 の報告とお知らせ

明治の小学校(4) 子守学校 古川 修文

◆千葉史学 千葉歴史学会
 〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33
 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111
 年4000円 1982創刊
 history.l.chiba-u.jp/~chibareki/
 ◇58 2011.5 A5 93p
 巻頭随想
 新出史料発見の偶然と必然 酒井 右二
 歴史随想
 「フェニックス」と『日本霊異記』
 兼岡 理恵
 「湯けむり史学」について 内田 鉄平
 『民権派ナショナリスト』
 板倉中 上田 浄
 <小特集 四季耕作図をめぐって>
 房総四季耕作図と岡勝谷筆「四季
 農村風俗図屏風」について 榎 美香
 研究ノート
 農具を絵にするとはどういうこ
 とかー四季耕作図のもうひと
 つの史料学 渡部 圭一
 西欧世界の「月曆図」について 黒田加奈子
 見学会 「豊年満作！農耕図のナ
 ゴを解け!!房総の四季耕作図と
 農具絵図一」を見学して 酒井 静香
 研究ノート
 上杉憲房と長尾景春 黒田 基樹
 書評
 川名登著『戦国近世 変革期の
 研究』 盛本 昌広
 岩橋清美著『近世日本の歴史意
 識と情報空間』 鈴木 愛
 新刊紹介
 茨城県立歴史館編『茨城県立歴
 史館シンポジウム報告書 中

世常陸・両総地域の様相一発
 見された井田文書一 石渡 洋平
 葛飾区郷土と天文の博物館編
 『葛西城と古河公方足利義氏』
 木下 聡
 川名登著『評伝 赤松宗旦一「利
 根川図志」が出来るまで』 山田真理子
 見学記 国立歴史民俗博物館企画
 展「武士とはなにか」を見学し
 て 渡部 綾菜
 震災レポート 東日本大震災によ
 る千葉県内での歴史資料・文化
 財等への被害報告 佐藤 正三郎

◆成田市史研究 成田市教育委員会
 〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市
 立図書館 TEL0476-27-4646 1972年創刊
 ◇35 2011.3 A5 140p
 講演録平成21年度市史講座 江戸
 時代の下総村々にみる駆込寺と
 入寺 佐藤 孝之
 回想「三里塚御料牧場と私」 新島 新吾
 聞き書き 岩澤貞男さんに聞く十
 余三のくらしなど
 資料紹介
 俳書「いなす、め」（稲雀） 加藤 定彦
 磯部石橋家文書
 歌誌「金鈴」（別に「いちご」
 一冊）
 成田市史調査員だより(4)
 Loc.20 No.400掘立柱建物一成
 田ニュータウンの特異な掘立
 柱建物 高木 博彦
 荒海貝塚のイネ 小川 和博
 千葉氏の官途について 木村 修
 鳥居氏への仕官と大洲新田の開
 発 外山 信司
 淀藩下総領の宗門改め 鍋木 行廣

保証人となった力士照ヶ嶽 小倉 博
 関戸・和田小学校について 神尾 武則
 豊住村青年団発行「我が郷土」中村 政弘
 成田鉄道への反対運動 矢嶋 毅之
 名木・常福寺と中興有鏝(ゆうば
 ん)法印 島田 七夫
 成田市史年表稿 2008(平成20)年
 中村 政弘
 成田市関係新聞記事目録
 2008(平成20)年
 記録 平成22年4月～22年12月
 ホームページのご案内
 新刊案内 合併5周年を記念して
 「成田の地名と歴史一大字別地
 域の事典一」

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要
 〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
 川村優方 TEL0475-33-5582
 ◇15 2011.4 A5 66p
 国破れて山河ありー歴史開眼 藤野 保
 近世後期常陸国鹿島郡鉾田町の動
 向 長谷川伸三
 歴史的後遺症論（川村設定の分
 析視角）発展のためにー先覚の
 著述内容の検証から 川村 優
 児玉幸多先生追悼特集
 児玉幸多先生を偲んでーご校訂
 『近世交通史料集』一～十の
 刊行を中心に 丸山 雍成
 児玉先生と昭史会 広沢 伸彦
 児玉先生の多彩な業績と熱烈な
 る研究意欲 川村 優
 研究余滴
 伊能忠敬にみる健康管理法 川村 優
 提 案
 長老(古老)の金言・予言をデー
 タベース化へ 川村 優

歴史的後遺症論の提起—信濃史
学会への問題提起に関連して
川村 優
房総書誌題目(2)—「地方史研究」
新刊案内から 井上 隆男

◆房総石造文化財研究会会報

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円

◇109 2011.4 B5 8p

会員寄稿(1) 松戸市円慶寺にあ
る青面金剛の脇童子 入谷 雄二
石造物を読む(5) 力石という名
称—民俗資料の呼称 米谷 博
会員寄稿(2) 子安塔にみるムラ
の産婆・産科医 藤 由美
資料紹介 千葉文華／土井照美さ
んのメールより
旧山田町石仏調査(6)

田部・西雲寺の三神霊之墓 石田 年子
事務局からの御報告 袖ヶ浦市の
石仏 本地観音菩薩銘のある山
王廿一社大権現庚申塔 石田 年子

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊

◇88・89 (37-3・4) 2011.2 A5 212p 2000円

〈特集1 裁判員制度・狭山裁判を検証する〉
市民参加の司法とは—学習会「裁
判員裁判を検証する」について

吉田 健介
学習会「裁判員裁判を検証する」
講師 鯉越溢弘氏・織田慎二氏
／司会 吉田健介氏
狭山事件・筆跡問題の一考察—脅
迫状の「ツ」書きと「時」の字
を中心に 藤沢 汎子

〈特集2 第2回東日本同和教育実践交流会〉
第2回東日本同和教育実践交流会
の報告 東日本部落解放研究所教育部会
特別寄稿 差別する人は気の毒な
人—連続大漁差別ハガキ・封書
事件の教訓から 平井 明
報告 32年目の同和教育 島田 一生
緊急報告・南葛定時制卒業式不起
立裁判
憲法を持たない国の教師となっ
て—原告一人の裁判を終わっ
て 申谷 雄二
裁判官の思想・良心が問われて
いる 松浦 利貞
〈女〉について語られてきたこと(5)
身を滅ぼす「情念」は、ほかか
らやってくる 井桁 碧
創作 房子の夏休み 長谷川恵子
活動日誌

◆あるむぜお

府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇96 2011.6 A4 10p

渡り鳥ってナンダ？(1)
鳥はどうして“渡る”のか？ 中村 武史
縄文土偶のナゾをさぐる 特別展
「発掘！府中の遺跡—縄文土偶
のナゾをさぐる&調査速報」 深澤 靖幸
展示会案内 企画展 蓮の画帳—
博士の研究用具— 花木 知子
最近の発掘調査 沖積低地で新た
に弥生土器を発見！ 片町三丁
目 湯瀬 禎彦

NOTE 173年ぶりの金環日食 本間 隆幸
知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物

(1) 矢島藤八郎 馬場 治子
平成22年度寄贈・寄託資料一覧／
平成22年度利用状況／新刊紹介
収蔵資料あれこれ 団地びな登場 佐藤 智敬

◆あしなか 山村民俗の会

〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円

www.8ocn.ne.jp/~sanmin/

◇231 2011.4 B5 38p

《中部・北陸・東海特集》
表紙解説 木曾駒嶽蚕玉大神絵札

塩澤 一郎
白山信仰と民俗芸能
—かんこ踊の由来と伝承 石森 長博
山古志大久保の山の神
—新潟県中越地方 山崎 進
木曾御料林における山仕事
—杣夫・大井代次郎氏聞書き 楯 英雄
甲州「桃園」地名考—櫛形山麓 井上 明生
天竜市懐山の年頭行事
—静岡県西部 石川純一郎

民俗探訪 「御石曳き」祭りと築
城石—東伊豆町稲取 邑科 久乃
山の常夜燈 刻印を繞る謎—伊豆
宇佐美・「宮内老人」と大正大
地震 岡倉 捷郎
山里だより(16) ヒヨドリ群がる
季節—奥多摩・青梅 中嶋 捷恵
余滴 伊豆の冬鳥たち 編集 室

旅の草ぐさ(10)
佐藤碩男／藤野泰弘／山田哲郎
時の風(切抜帖から) 「小さな世
界」の絆こそ(東京新聞)

◆足立区立郷土博物館だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1

TEL03-3620-9393 1996年創刊
www.city.adachi.tokyo.jp/003/d10100156.html

◇60 2011.4 A4 4p

平成23(2011)年度の年間展示 特
別展「浪人たちのフロンティア
—戦国末から江戸時代はじめの
村づくり・町づくり—」／都市提
携展「第17回 鹿沼市立川上澄
生美術館木版画大賞展」／収蔵
資料展「郷土博物館の収蔵資料
展」／「むかしの道具」／「新収蔵資
料展」／郷土芸能の催し 郷土
芸能鑑賞会・郷土芸能大会／区
民教養講座／毎週実施！子ども
向けイベント／文化遺産調査進
めています 足立の仏教遺産調
査について

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇519 2011.5 A4 4p

新田開発と浪人由緒 多田 文夫
杉田玄白日記と足立 青木 昇
亀有大谷田物語(13)
—昭和30年代の私 遊(3) 伊藤 純
都市近郊の農産物を追う(40) 藁
加工品—ムシロ・コモ・ナワ(4)

萩原ちとせ

◇520 2011.6 A4 4p

天竜区渡ヶ島の慶長検地帳
—区外所在の歴史資料の紹介 郷土博物館
幕府大棟梁甲良家について(後)
あさくらゆう

亀有大谷田物語(14)
—昭和30年代の私 遊(4) 伊藤 純
都市近郊の農産物を追う(41) 藁

加工品—ムシロ・コモ・ナワ(5)
萩原ちとせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇278 2011.5 A4 4p
平成23年度足立史談会総会
4月探訪報告(4月10日)
桜舞い賑わいの向島を歩く
伊興遺跡発掘調査の経緯について
(中) 昭和44年の発掘/昭和48
年の発掘
春季区民教養講座報告

◇278別冊 2011.5 A4 4p
津浪と人間 「昭和三陸地震(1933
年)津波に関する考察」(昭和18
年『鉄塔』) 寺田 寅彦

◇279 2011.6 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(112) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第四章 科学的教養の普及 堀川 和夫
伊興遺跡発掘調査の経緯について
(下) 7.発掘後の動向/毒沼聖
天院修復完了 安藤 義雄
足立史談カルタ紹介
「ぬ」沼田はむかし御神領
5月探訪報告
自然堤防と樹林を歩く

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682

◇264 2011.5 A5 25p
神仏分離と牛頭信仰 成澤 誠司
一枚の写真から(6)
おんぶで子育てした時代(2) 泉 貞代

中世志村氏の関連する二つの史料
から 井上 富夫
ひろば
幻の例会—浦安周辺を歩く 猪瀬 尚志

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
加藤恒彦方

◇379 2011.5 B5 21p
安全登山への再考を 加藤 恒彦
武甲山再生への道 関口 洋介
山ガールのゆくえ 広本 礼子
埼玉県民と二・二六事件 染谷 鷹治
小説『犬塚』(3) 小泉 重光
「黒目川沿いの湧水と史跡を訪ね
て」で見た所 乾 馨
一寸気になる河岸段丘 岡野 守
山行報告

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040

◇100 2011.5 B5 16p
第339回月例研究会 2月27日(日)
飛鳥山博物館常設展見学会 榎本 龍治
会報百号に寄せて 運営委員一同
第341回月例研究会 4月16日(土)
佇む静寂のアーチ 音無橋 有馬 純雄
豊島氏は富と栄光を求めたか 豊島 信夫
第340回月例研究会 3月19日(土)
冊子『語り継ぐまちづくり』が
できるまで 長岡 幸雄
北区史を考える会会報 総目次(1
～79号)

◆季刊 Collegio 之潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 www.collegio.jp

◇44 2011.4 B6 60p 300円
『江戸・東京地形学散歩』の読者
のために(補遺) NHK放映の
「プラタモリ」 松田 馨余
縄文遺跡と地形—多摩ニュータウ
ンNo.72・446・446B遺跡 安孫子昭二
小型図紹介(8)
東京風物名物誌・銀座 山下 和正
フランス古地図音楽散歩(26)
クレリー通り 関根 敏子
ペリー艦隊が見た地形(2)
夏島付近と平潟湾 松田 馨余
東京電車線路物語(22) 総武本線
両国御茶ノ水間開業時運転 井口 悦男
金井入口と尾根 田中 正大
中西悟堂を歩く(23) 井の頭公園
西村 眞一
大陸彷徨 ロマノフカ行(8) 島田 英常
『学習参考書地理的発見の歴史』に
ついて(4) 佐々木路子

◆交通史研究 交通史研究会
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
国士舘大学文学部 地理学教室内
www.soc.nii.ac.jp/jstc/

◇74 2011.4 A5 71p
先達と認められなかった白山先達
の檀那引 工藤 克洋
「鎖国」制下の海の関所
—長崎両番所から浦賀番所へ 加藤 僚
シンポジウム報告
シンポジウム「山陽道矢掛宿の
歴史と現代」 和田 実
参勤交代と山陽道の宿駅 山本 博文
篤姫と矢掛宿 渡邊 和夫
矢掛宿の町並みと休泊の諸相 中野美智子
山陽道・西国街道とその景観 八田 茂樹
東海道宿駅の本陣

—山陽道と比較して 和田 実
巡見報告 矢掛宿と神辺宿 河島 悦子
例会報告 近世多摩川の材木流通
と筏師の経営—武州多摩郡五日
市・大久野村の史料を中心とし
て 丹治 健蔵
新刊紹介
根岸茂夫監修、利根川歴史研究
会編『武蔵国幡羅郡日向村船
田家文書 名主伊兵衛絵入道
中記』 岩橋 清美
藪内吉彦・田原啓祐著『近代日
本郵便史—創設から確立へ—』
丸山 雍成

◆式内社通信 式内社顕彰会
〒151-0053東京都渋谷区代々木1-1-2
神社本庁内 TEL03-3379-8048 2011年創刊

◇2 2011.6 B5 16p
伊太祁曽神社 名神大社(旧官幣
中社)
財団法人式内社顕彰会の解散につ
いて 田中 恆清
平成22年度 臨時評議員会議事録
/平成22年度 臨時理事会議事
録
平成22年度支部活動報告 東北支
部・関東支部・北陸支部・東海
支部・近畿支部・山陽支部・山
陰支部・四国支部・九州支部

◆史叢 日本大学史学会
〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部史学研究室内
TEL03-3329-1151

◇84 2011.3 A5 82p
講演記録 日本歴史と武士道 高橋 昌明
大正中期における金森徳次郎の憲

法論一緊急勅令の諾否未決問題
霜村 光寿
研究余録「天正壬午の乱」と城景
茂・昌茂 小川 雄

◆下町文化

江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp

◇253 2011.4 A4 8p

平成22年度の新指定文化財 銅造
水盤・ガラス乾板・漆芸／地域
に根ざした文化財保護をめざし
て

指定文化財 銅造水盤 太田正義
作、ガラス乾板 深川区史図版、
漆芸 保持者・前田仁／登録文
化財 石造鳥居 昭和5年在銘、
越中島砲台跡／卓越技能賞受賞
木工(建具) 友國三郎氏

江東区域の江戸藩邸

信濃国上田藩抱屋敷(1) 中西 崇

江東区芭蕉記念館開館30周年特別
展 芭蕉書簡三点／歴史の中の
武将と文人—中世から近世へ—
／ちぎり絵「奥の細道」 横浜 文孝

時雨忌講演会 『おくのほそ道』の
比較文学的考察(前) マブソン青眼

新刊紹介 『江東区の文化財2 深
川寺町界隈』、『東都三十三間堂
旧記 三』／平成22年度寄贈資
料リスト

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋北郵便局私書箱50号
TEL03-3967-1948 年6000円

◇73 2011.4 A4 6p

総会大会 会場の変更—東北関東

大震災被害による
篠原城から二条の空堀が出土
—新横浜駅脇の戦国期城郭 中澤 伸矢

豊臣氏時代の大坂城石垣の展示計
画—大阪市が5ヵ年計画

各地の城郭ニュースから 名古屋
城本丸御殿復元 工法を巡り国
と市側が対立／若狭国国吉城で
新たな石垣が見つかる

最近の注目される城郭関係図書か
ら 西ヶ谷恭弘編著 萩原一青
画『日本の名城』、笹本正治著『武
田勝頼』

各地の城郭研究会活動から／2月
旅行会 第4回中国万里長城と
城郭から

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇49 2011.4 A4 16p

はじめに 川サロン交流から民間
団体スクラム活動へ 猪狩 達夫

創立25周年 第24回隅田川市民サ
ミット(船上) 隅田川・荒川の
沿川変化と生物多様性—船から
の河川観察と会員交流を軸に
竹田 一明

隅田川市民サミット(船上)講演
「東京の母なる川」復活へ

ヘドロ除去が最優先の対策 佐藤 武
小名木川 ハゼ釣り調査 糸井 守

フィールドワーク(FW)(17)
佃島界隈の水辺散策 糸井 守

隅田川市民交流実行委員会と“プ
チ・隅田川クリーン大作戦”を
実施 藤原 隆

隅田川大学公開講座 江戸東京博
物館特別展見学「隅田川—江戸
が愛した風景—」 渡辺 早苗

感想 猪狩達夫／糸井守／小木曾
淑子／葉山隆／馬場永子

日本の“いい川”シンポジウム参
加報告 糸井 守

四万十の日実行委員会
隅田川を訪問 片田 宏一

魅了「東京の顔」 岡本 淳
第7回 四万十町展 片田 宏一

北九州・紫川「第3回アジア水の
輪ネットワーク」への参加報告

糸井 守
クリーン堀川 川口 正秀

堀川開削400年記念シンポジウム
—都市河川の蘇生とまちづくり

—に参加して 沼尻 重男
会員だより

中高年のみなさん、もっと歩き
ましよう 大野 秀樹

長谷孝次氏を悼む
ノテ(山の手)のお殿さま 小木曾淑子

江戸博・フォーラム「浅草十二
階に魅せられた男」—喜多川

周之コレクションの魅力—に
出席して 小木曾淑子

石の橋 木の橋 馬場 永子
“東京水辺のスケッチ集”展示

が水辺ライン船上で 猪狩 達夫

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/

◇215 2011.6 B5 33p

猟師による動物性民間薬の加工・
行商—富山県南砺市(旧東礪波

郡)利賀村利賀川流域の場合を
中心に 森 俊
王子の槍祭り 長沢 利明

戸建沢の伝承 大島 建彦
滋賀の天狗像(下)—昔話・伝説・

世間話からの考察 高橋 成
吾妻における野兎の民俗(上) 天野 武

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogeji/

◇227 2011.5 A4 2p

軽業
大縮一代記(14) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◇228 2011.6 A4 2p

街頭演歌の元祖 添田さつき
大縮一代記(15) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◆多摩地域史研究会会報

〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財COM内 TEL042-521-0186

◇98 2011.5 B5 10p

第74回例会報告「立川の旧村を歩
く—旧柴崎村と普濟寺を中心と
して—」に参加して 立川 明子

速報 東北関東大震災による茨城
の被災状況—歴史資料の救済に
向けて 高橋 修

参考資料 東北・関東大震災被災
地の被災した歴史資料について
のお願い

多摩地域史研究会 第20回大会
多摩の鉄道史Ⅱ—私鉄と沿線開
発

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内 TEL042-574-1360
年1200円 www.tamashin.or.jp

◇142 2011.5 A5 122p

ごあいさつ 佐藤 浩二

《特集 むかしの暮らしを復元する》

武蔵野の民家 二題—国営昭和記念公園もれびの里の旧石井家住宅と東久留米市柳窪の村野家住宅について 稲葉 和也

モノ・記憶・記録—民具からたどる武蔵野の水車屋ぐらし 神野 善治
府中市郷土の森博物館と宮本常一

佐藤 智敬

青梅・万徳旅館について 早川 典子

住まいと暮らしの道具—多摩市峰岸松三氏の絵と話より 山崎 祐子

豊島区・旧田島平良家長屋門の調査 福岡 直子

さし絵のなかの多摩(50) 最終回

主要文献年表 齋藤 愼一

洋風建築への誘い(31)

犬も歩けば……「日野宿」 伊藤 龍也

建物随想記(26) 日野宿蔵模様 酒井 哲

古文書は語る(29) 江戸に嫁した娘からの手紙—吉野家文書「田村みちの書状」より 馬場 憲一

多摩の食文化誌(3)

大麦は健康食の筆頭 増田 昭子

多摩のみほとけ(5)

福生市清岩院 銅像菩薩立像 齊藤 経生

本の紹介

あきる野市五日市郷土館編『村

明細帳—江戸時代の寄場村

「五日市」と周辺の村々— 渡邊 英明

くにたち郷土文化館編『学園都市開発と幻の鉄道—激動の時

代に生まれた国立大学町—』梅田 定宏

狛江市立中央図書館編『狛江市

制施行40周年記念誌 写真で

見る昭和の狛江』坪西由美子

まちの情報ハブ・図書館(5)

福生市立図書館 愛甲 晴美

◆地方史研究

地方史研究協議会(発売:岩田書院)

〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5

名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円

1951年創刊

◇351 (61-3) 2011.6 A5 104p 1143円

新潟奉行川村修就の海防体制の確

立過程について 中野 三義

幕府屋敷改による百姓商売家の把握と規制—將軍家鷹場鳥見との

関係に注目して 宮坂 新

第52回日本史関係卒業論文発表会

要旨

文化財保護をめぐる諸問題の検証

と今後の課題 瀧沢 典枝

シンポジウム「文化財保護法制定

60年と歴史学—文化財保護の現状と今後の課題—」に参加して

鈴木 由美

「雄略天皇陵」外構柵整備その他

工事にともなう調査見学参加記

鍋本 由徳

2010年度陵墓立入り観察について

—誉田御廟山古墳(現応神陵) 齊藤 進

「酒田古文書同好会」について 土岐田正勝

研究例会報告要旨

葛西郡における板碑造立の一樣

相—東京都葛飾区葛西城出土

の板碑を通して 伊藤 宏之

鎌倉極楽寺流律家の西国展開

—播磨国報恩寺を中心に 大塚 紀弘

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403

多田統一方 FAX03-3964-8548

tias3.web.fc2.com

◇88 2011.5 A4 4p

再掲 第2回産業考古学基礎講座

のご案内—泰緬鉄道(Thai-

Burma Railway)を調査して 吉田 修

関連団体情報 産業考古学会

短信 セルロイドが「化学遺産」

に認定 平井 東幸

博物館シリーズ(1) トロートン

天体望遠鏡—日本の近代天文学

の記念碑的存在 小野田良智

茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(2)

赤煉瓦造の蔵(1) 八木 司郎

新刊紹介「産業遺産」—時を超え

て輝く ニッポン近代化の所産

を巡る 袖須 紘一

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1

東京音楽大学 山本幸正研究室気付

www.s-jfm.org

◇35 2011.6 B5 19p

巻頭言

民俗音楽学会の機能と役割 藤井 知昭

東日本大震災報告

—福島県を中心に 懸田 弘訓

第18回大会(沖縄大会)のご案内

行事企画委員会・大会実行委員会

研究レポート

第7回民俗音楽研究会の詳細

民俗音楽伝承力の創造—生涯に

わたって生きる実践的な具体的

な提言

今後への期待 小林 豊

常置委員会から

行事企画委員会 星野 紘

機関誌編集委員会 岩井 正浩

調査研究委員会 伊野 義博

会報編集委員会 尾原 昭夫

事務局からのお知らせ 小野寺節子

書評 「江戸天下祭絵巻の世界」

都市と祭礼研究会編 城所 恵子

受贈刊行物紹介 会報編集部

会員の動向 山本 幸正

編集後記 東日本大震災 被災者

を励ます地域の芸能〈虎舞〉〈念

仏剣舞〉 尾原 昭夫



* 懸田弘訓氏の「東日本大震災報告—福島県を中心に」は、日本民俗音楽学会東北地方地区担当委員で福島在住の同氏が、余震と放射線の危険が続く中、県内被災地の集落を回り、民俗芸能の被災状況を調査した報告である。新地町釣師の十二神楽、相馬市原釜の神楽や手踊、浪江町請戸の田植踊など、6市町17集落26芸能に及ぶ。悲惨この上ないことに、これらの集落は一軒も残っておらず、壊滅的な被害で再興はほとんど困難と思われると言う。それに加えて放射能汚染で集落そのものの復旧すら全くみえていない。懸田氏は、民俗芸能はいつの時代でも「地域づくり」の柱で、心の支えになっていることを再認識したという。どのような支援ができるのか、学会

を上げて取り組んでいただきたいと思います。

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454

◇333 2011.5 A4 4p

練馬の城を往く(1) 八巻 孝夫
平塚城の謎を検証する(3) 葛城 明彦
照姫伝説考(5) 遠武 健好

◇334 2011.7 A4 4p

東京市養育院と、彼のひとびと(2)
一児玉花外・島崎こま子・長谷
川利行・物集高量 日向康三郎
太平洋を渡った二つの寺の鐘 河勝 大
平塚城の謎を検証する(4) 葛城 明彦
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(13) 鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603
鈴木方 TEL03-3920-3627 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇46 2011.6 B5 4p

講演録 豊臣大名とその妻妾たち 柴辻 俊六
木下家文書 “謎の人物”「安太郎」
に迫る(下) 鈴木 義範
江戸の大地震 桜井 孝子

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264 年2500円

◇95 2011.5 B5 4p

第95回例会 石神井城址と練馬城
址の発掘調査成果 都築恵美子
石神井台の昔と今
一地図等から見て 土屋 正孝

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内

◇81 2011.5 B5 108p 1500円

《特集 民衆史研究の現在》

特集にあたって 民衆史研究会委員会

セッション1 環境と生存

環境と生存—日本古代の火山噴
火と民衆 宮瀧 交二
「環境と生存」宮瀧交二氏への
コメントに換えて—江戸時代
における噴火と民衆 北原 糸子

セッション2 性と生殖

性と生殖からみた近世女性の身
体と子どもの「いのち」 沢山美果子
沢山美果子氏の報告に対するコ
メント 斉藤 研一

セッション3 声と身体

声と身体—日本中世の史料を手
がかりに 酒井 紀美
〈実践〉の世界へのアプローチ 藤野 裕子
シンポジウム討論要旨

追悼 奥野中彦さんを偲ぶ

正を執つて動じず 鹿野 政直
お別れ、無念のきわみです 杉 仁
奥野先生の思い出 錦 昭江
奥野中彦氏の民衆史 飯沼 賢司

書評

鎌倉佐保著『日本中世荘園制成
立史論』 小野 貴士

畑尚子著『徳川政権下の大奥と
奥女中』 松崎 瑠美

三輪泰史著『日本労働運動史序
説—紡績労働者の人間関係と
社会意識』 島本 浩樹

展示会短評

中川船番所資料館展示リニュー
アル 矢野美沙子

和歌山大学紀州経済史文化史研
究所企画展「西岡虎之助 民
衆史学の出發」 高木 徳郎

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
東京音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s.jfm.org

◇36 2011.3 B5 109p

『聖徳太子伝』および『童謡集』
所収子守唄の解釈上の問題—子
守唄のむく犬・でんでん太鼓・
笙の笛にちなむ謎に迫る 尾原 昭夫
ハワイ日系移民の〈ホレホレ節〉
の継承 悲しい歌の伝説をめぐ
って 中原ゆかり

盆踊りの昔の問題

—白山周の事例をもとに 星野 紘
研究ノート 伊勢大神楽の神楽囃
子研究—音曲構成の特徴と他分
野諸芸能との関連性 森田 玲
調査報告 人形浄瑠璃保存団体の
現状についての調査報告 勝岡ゆかり
〈第24回大会報告「日本の民俗音楽における
楽器の分布」〉(2010 東京)

基調講演 日本の民俗音楽におけ
る楽器の分布 小島 美子
シンポジウム 日本の民俗音楽に
おける楽器の分布

藤井知昭／小林幸男／松永建／岡
田千歳／片桐功／梁島章子／高橋
隆二／久野壽彦／入江宣子／星野
紘／桂博章／懸田弘訓／小林敏雄

研究発表要旨

民俗音楽研究における計量的方
法論の重要性 河瀬 彰宏
文学部系授業におけるわらべう
たの扱い 小野寺節子

盆踊りと念仏踊りの関係 星野 紘
『聖徳太子伝』および『童謡集』
所収子守唄の解釈上の問題 尾原 昭夫
町田嘉章の民謡調査の軌跡(1)

『日本民謡大観』前夜 高添貴美子
旋律分析の方法論(3)—椎葉の
民謡にみられる節まわしの共
有制について 上西 律子

第7回民俗音楽研究会報告(2010
新潟市) 民俗音楽伝承力の創
造—生涯にわたって生きる実践
的で具体的な提言 伊野 義博
活動報告(2010年)

◆明治維新史学会だより

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学第I研究館文学部歴史学科
小泉雅弘研究室 2004年創刊
www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/

◇15 2011.5 B5 12p

2011年度第41回明治維新史学会大
会の案内
〈2010年度第41回明治維新史学会大会報告
要旨〉

明治初期の最恵国待遇認識(仮題) 山下 大輔

近世後期から幕末期地域社会にお
ける政治情報の収集と共有 堀井 美里
「有志」大名考—「共有」にみる彼
らの関係性 浅井 良亮

王政復古前後の秋田藩と奥羽連合
策(仮題) 天野 真志

明治初期における政府要人の葬儀
—大久保利通の葬儀まで 宮間 純一

2010年度明治維新史学会秋期大会
記事

〈2010年度明治維新史学会秋期大会討論要旨〉
植原孝俊氏「幕末維新时期における

自然法的天理の形成過程—横井
小楠思想を事例として— 吉田 洋一
重松優氏「文部卿大木喬任と学制
制定期の『国体』問題」 鶴飼 政志
星原大輔氏「江藤新平と由利財政」
牛米 努
大庭裕介氏「江藤新平の政治思想
—司法省達第四十六号の位置づ
けをめぐる—」 兒玉 圭司

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 TEL03-3711-3959
◇676 2011.5 B5 8p 150円
路線バスに乗って区内案内 (14)
(黒32系統)「恵比寿駅～用賀駅」
線の内、「恵比寿駅～正覚寺前」
平山 元也
アメリカ橋によせて(6) 田丸 太郎
目黒への道・壺 橋口 明子
目黒と目と黒と(3) 目黒 英夫
めぐろの児童遊園めぐり
「唐ヶ崎児童遊園」 吉田 早織
町会誌でたどる昭和史(2) 柿の
木坂移り変わりより 柿の木坂
町会編集
大銀杏 (6) 仲野 基道
◇677 2011.6 B5 8p 150円
路線バスに乗って区内案内(15)
(黒32系統)「恵比寿駅～用賀駅」
線の内、「正覚寺前～祐天寺」 平山 元也
自然園と岡見家 田丸 太郎
目黒への道・式 橋口 明子
目黒と目と黒と(4) 目黒 英夫
めぐろの児童遊園めぐり
「大岡山児童遊園」 吉田 早織
ヒコベエ下の道とナラコ、竹の子
栗山 佳也

宿山の庚申塔群 花井 鉄弥

◆洋学史研究 洋学史研究会
〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482 年5000円
1984年創刊
◇28 2011.4 A5 167p
『測量秘言』成立の背景について 今村 英明
阿蘭陀通詞吉雄幸左衛門耕牛と
「刺絡」 片桐 一男
森田千庵『四十五様』について—
中野柳圃ろ森田千庵と仏文法の
関係 岡田 和子
大槻玄沢『捕影問答』とフェート
ン号事件 松本 英治
福井県関係者のロシア認識と蝦夷
地開発及び防備構想について 塚越 俊志
研究ノート
長崎からエレキテルを見直す 松尾龍之介
史料紹介
細井広沢編「測量秘辞」 浦川 和男

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇225 2011.4 B5 28p
二宮尊徳と表彰 勝俣淳一郎
報徳思想の「立会人」不退堂聖純
青木 良一
二宮金次郎—その人と思想を読む
佐久間俊治
尊徳「小田原仕法」置置始末
一民ありてのち君起こる 平倉 正
小田原の郷土史再発見 鏡信一刀
流師範十二人の顕彰碑と墓碑
(上) 石井 啓文
小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(9) 鈴木 好
第1回全国禹王文化まつりに参加
して 田口 鏡子
史談再録(14)「小田原史談会事
始」の記(末次富士子夫人聴書
帳より)『小田原史談』第70号
(昭和49年1月号) 中里 史子
おだわらシルバー大学文化祭 自
主研究発表会開かれる
2011年 新春 甲斐路初詣 田中 豊
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
◇225別冊 2011.4 B5 8p
小田原史談会創立55周年記念
『小田原史談』目次一覧(第204
号～第225号)

◆開国史研究 横須賀開国史研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市企画調整部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊
◇11 2011.3 A5 166p 800円
口絵資料紹介・解説「天保十五甲
辰年三月以来浦賀湊江異国船漂
着船之絵図并二国名乗込人数銘
々記」 山本 慧
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
総会記念講演 知られざる幕府海
軍総裁・矢田堀景蔵 植松三十里
沼津藩の海防と伊豆東岸の台場 浅川 道夫
史料を読む
『横須賀繁昌記』を読む(1) 山本 詔一
『浦賀奉行 井戸石見守筆記』を
読む 大出 鍋藏
投稿コーナー
浦賀奉行組与力 中島三郎助の
江戸湾海防論 小川 直樹
日米和親条約における領事駐在
規定をめぐる考察—補遺 今津 浩一

江戸湾海防における横文字書付
と通詞 山本 慧
報告記事『オネイダ』と『アメ
リカ』—江戸湾での二件の惨事
碓井 文昭
研究会一年の活動 事務局

◆郷土誌 葉山 葉山郷土研究会
〒240-0112三浦郡葉山町堀内1874
NPO法人葉山まちづくり協会内
TEL046-876-0421 2004年創刊
◇8 2011.4 B5 126p 900円
はじめに 黒田 康子
《特集 続・堀内》
江戸時代の国絵に見る森戸海岸と
寺社 編集部
堀内の地図に見る浜道の変遷 鈴木 雅子
堀内町内会区分図・葉山空中写真
・葉山全図にみる堀内 編集部
堀内の字・地名の由来 鶴 泰
地藏信仰と堀内の寺々 片山 義雄
鏡摺(「手帳」17冊再録) 黒田 康子
堀内(濱)の屋号と家紋 今井 俊夫
三浦半島西岸の“臍”堀内 滝本 誠一
堀内の神社 高城 通教
堀内の宮家・華族の別荘 池田 京子
葉山に別荘を持った日本銀行総裁
出澤 敏雄
日影茶屋をめぐる人々 鈴木 雅子
「眞名瀬」いろいろ 矢島 昌一
レモコ・モモコの物語
—創業100年の菊水亭 吉浦 侑子
ショミンバタ
葉山のハマことば あれこれ 松元 峯生
光徳寺の三梵鐘 軽部 一一
森戸神社内顕彰碑いろいろ 寺山ルリ子
葉山堀内七桶島蛸伝説から一水の
生物 蛸と鰻と蛇と河童と 黒田 康子

創作民話 名鳥と悟作 山本 貴恭
 古文書部会活動
 古文書部会活動報告 濱岡 辰紀
 堀内村岡浜出入(騒動) 濱岡 辰紀
 旧堀内村の除地について 内藤 範子
 森戸川出口絵図からの一考察 鳥居 信吉
 平成22年度発掘文書目録 古文書部会
 地域史話「長柄桜山古墳群」の
 覚え方(5)―第1号墳発掘調査終
 了時の総括と国指定史跡として
 の整備計画 東家洋之助
 研究交流 南福島 敏三
 相模国三浦郡と会津喜多方 富田 国衛
 「葉山郷土史研究会」の紹介
 一平成22年度活動報告 鶴 泰
 コラム
 「鐙摺城跡試掘調査」の概要 軽部 一一
 明治時代に外国から千客万来の
 平山ホテル 編集部
 真名瀬の竜宮祭と名鳥 鈴木 雅子
 三鬼と葉山(再録) 小池 邦夫
 「三家橋」創設の一人 恒藤規隆
 家 鈴木 雅子
 北里柴三郎の別荘 矢嶋 道文
 高井家「カクシチ」のこと 高梨 民雄
 「日本ヨット発祥の地」のゆえん
 鈴木 雅子
 船溜(葉山港)竣工記念碑 吉田 耕一
 木の交差点の石碑(ボンジュ
 ール西) 鳥居 信吉
 向原〜真名瀬旧道歩き 編集部
 七 桶 田中 富

◆クロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
 西海賢二方 年1000円
 ◇125 2011.5 B5 6p
 城下町の民俗の世界

一小田原の年中行事(14) 西海 賢二

◆史談足柄 足柄史談会
 〒250-0192神奈川県南足柄市関本440
 南足柄市教育委員会内 TEL0465-74-2111
 1962年創刊
 ◇49 2011.4 A5 100p
 序 押田 洋二
 『史談足柄』第49集の発刊に寄せて
 沢 長生
 『史談足柄』第49集の発刊に寄せて
 南福島 敏三
 調査研究報告 福澤神社(3) 調査研究部
 市内史跡探訪 沼田から岩原へ 上原 元紀
 炎下、福島会津を往く 田中 豊
 市外史跡探訪 東北福島県への旅
 関田 昇
 役員研修会の報告 神奈川県鎌倉
 方面 東慶寺・鎌倉国宝館・長
 谷寺・高德院を訪ねて 総務部
 第35回南足柄市市民文化祭・文化
 財展 事業部
 『大雄山誌論考』出版記念祝賀会
 報告 重田 武男
 大雄山の杉林を巡る十の謎 内田 清
 明治初年の県政
 一小田原県から足柄県へ 本多 秀雄
 「国会開設」に動き始めた南足柄
 市域の人々 藤平 初江
 ひろば 山田ひとみ/内田紀世史
 平成22年度会務報告 事務局

◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方
 ◇123 2011.4 B5 24p
 60の手習い(奈良へ) 榎本 洋一
 さば神社を考える(13)

4.さば神社と鉄製鎌 西村堅一郎
 諏訪神社の勧請をめぐる片瀬の古
 代史(2) 鈴木 和一
 先史時代と塩 古要 祐慶
 「矢上台遺跡」見学記 伊藤 郭
 湘南考古学同好会30周年記念行事
 開催 榎本 洋一
 「第28回藤沢市遺跡調査発表会」
 を聴いて思うこと 山田香代子
 公開セミナー「縄文時代の植物食
 と水場利用」を聴講して 米 諄
 表面採集した打製石器 永山 鶴一
 平成22年度かながわの遺跡展 発
 掘された武家の古都「鎌倉」 林 美佐
 卒業論文より 九州地方と関東地
 方の縄文時代の埋葬姿勢につい
 て 園部ゆうき
 横穴墓往還(8)
 一十五郎穴横穴墓群 上田 薫
 平成22年度湘南考古学同好会
 活動の記録 榎本 洋一
 新刊報告書の紹介

◆全国地名研究交流誌 地名談話室
 日本地名研究所
 〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
 川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/
 ◇26・27 2011.6 B5 20p
 《狼煙特集》
 宮古島のノロシ 谷川 健一
 古代の烽 木下 良
 姫路の火山 田中 早春
 山口県の烽 伊藤 彰
 伊那谷の狼煙場地名 原 董
 抜粋 黒船・狼煙・狼糞 高橋 敏
 熊野の日本狼と黒船 上野 一夫
 沖縄県の火番盛について 盛本 勲

沖縄狼煙考(上・下)(『沖縄タイム
 ス』2010年8月10日・11日より)
 鳥袋 和幸

◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852
 年2500円 2003年創刊
 ◇32 2011.6 A5 100p 500円
 小田原に愛着をもった北村透谷―
 透谷と論吉・尊徳・正兄 附・
 「二宮尊徳翁」「福澤翁と敬字先
 生」 金原 左門
 鶴姫と女軍の戦い 今川 徳子
 金次郎はなぜ桜町仕法を辞めよう
 としたか 尾上 武
 ボクの映画館(12) 二本の「反戦」
 映画―木下恵介「二十四の瞳」
 と降旗康男「ほたる」 平倉 正
 松田山の西明寺と源延
 附・西明寺にまつわる話 鳥村 俊介
 俳句随想―秋桜子と湘子の俳句 佐宗 欣二
 酒匂だより「タンポポ」 町田紀美子
 村芝居よぉ〜(6) 朗読談義再び 本多 博
 歌舞伎を彩った人々(4) 六代目
 中村歌右衛門と七代目尾上梅幸
 田中 豊
 トイレの神様・仏様 小林 一夫
 亀右衛門咄(9)
 歯吹阿弥陀縁起譚 青木 良一
 始まりの人(4) 譚嗣同 茂木 光春
 近代神奈川の書籍文化(7)
 敗戦前後の貸本屋(下) 高野 肇

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会
 〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6 藤
 沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊
 ◇42 2009.3 A5 173p

戦国期の江ノ島関連文書の研究
 ーその時代的背景と分析(下) 下山 治久
 郷土の歴史 宮原郷土史稿 吉川 榮
 ◇43 2010.3 A5 11+172p
 戦国期の鶴沼の領主・岩本定次の
 軌跡 下山 治久
 改訂 後北条氏発給者別 編年文
 書目録 下山 治久
 ◇44 2011.3 A5 77p
 伊勢参宮旅日記にみる江戸時代の
 旅行行程ー東日本における観光
 行動を中心として 加藤 芳典
 文書館歴史講座
 自治体公文書が語る徴兵事務 中村 崇高
 「名誉の戦死」をめぐる
 ー神奈川県の場合 坂井 久能
 戦争の時代を生きてー夜間戦闘
 機「月光」の搭乗員として 大石 静雄
 史料に見る近代兵士の群像ー藤
 沢市文書館所蔵資料から見え
 るもの 中村 修

◆三浦一族研究 三浦一族研究会
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 横須賀市企画調整部文化振興課内
 TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊
 ◇15 2011.3 A5 229p 800円
 《15周年記念号》
 口絵資料紹介・解説 三浦道寸書
 写『古今和歌集』写本奥書部分
 真鍋 淳哉
 ごあいさつ 吉田雄人/石黒幸雄
 総会記念講演 鎌倉御家人三浦氏
 の西国支配と紀伊南部荘 海津 一朗
 講演会 夢窓国師と三浦氏 山家 浩樹
 論文 朝比奈義秀と大力 盛本 昌広
 基礎講座 中世社会と三浦一族
 ー戦国時代 真鍋 淳哉

学習講座 三浦一族の信仰と造仏
 上杉 孝良
 史跡めぐり
 平成22年度 第1回～3回 荒井 正美
 会員コーナー
 平成22年度総会記念講演を聴い
 て 堀江 和義
 第2回史跡めぐりに参加して 加藤 慎一
 仲よし四人組のみちのく紀行 森 敏晴
 MYKトリオの三戸散歩 吉田 綾子
 三浦一族研究会平成22年度史跡
 めぐり参加して 佐々木 成
 〈15周年記念特集〉
 三浦一族研究の現状と課題
 古 代 中三川 昇
 中世前期 高橋 秀樹
 中世後期 真鍋 淳哉
 特別論文 「三浦深堀」氏の誕生 田中 大喜
 三浦一族研究会発足15周年に寄せ
 て
 三浦氏研究への期待 野口 実
 三浦一族研究会発足15周年に
 よせて 永井 晋
 三浦氏と宅間上杉氏 黒田 基樹
 三浦一族研究会15周年の「思い出」
 三浦一族研究会名誉会長 山中 裕
 三浦半島とのつながりを 佐藤 弘之
 三浦一族研究会15周年の思い出
 長澤 久夫
 三浦一族との出会い 芳賀 久雄
 私と三浦氏 三浦 弘道
 「吾妻鏡を読む会」と三浦一族
 研究 山崎 正
 三浦一族関係文献目録(15) 中里 行雄
 研究会一年の活動 事務局

◆民具マンスリー
 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円
 ◇517 (44-1) 2011.4 A5 24p 350円
 大分県上津江町の絵によるむかし
 の暮らし 井上 揚佑
 民具短信
 アチック手拭の復刻について 加藤 友子
 書籍紹介 『政田民俗資料館収蔵
 資料目録』 安倉 清博
 ◇518 (44-2) 2011.5 A5 24p 350円
 奉納木槌からみた奈良市腰痛地蔵
 の信仰 鬼澤 暁子
 京都の竹製千歯扱き 青山 淳二
 ◇519 (44-3) 2011.6 A5 24p 350円
 『会津農書』にみる田の草取りの
 民俗 佐々木長生
 谷津(ヤツ)の水田漁撈
 ー汽水域の生業複合(上) 安室 知
 民具短信
 長いウシंगा、短いウシंगा 安倉 清博
 ◇520 (44-4) 2011.7 A5 24p 350円
 東日本大震災被災地における資料
 保全活動について 佐野賢治/窪田涼子
 飛驒の雪形ー農事曆の饗宴 脇田 雅彦

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
 〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
 加藤導男方
 ◇66 2011.5 B5 55p
 平成23年度会長就任に際して 加藤 導男
 東日本大震災によせて 加藤 導男
 平成23年度定期総会開催/平成23
 年度全国歴史研究会新年会開催
 /全国歴史研究会主催 本部会
 員懇談会・講演報告
 平塚八幡宮の御由緒に見る地震の
 検証 田邊 英治
 幕末史余話ー勝海舟の弟子と横浜

堀江 洋之
 江戸時代鎖国期における対外関係
 の諸相について(6) 荻島 和男
 不平等の出生伝承をめぐる(1) 石川 勝義
 “東慶寺残照”
 ー時代に翻弄された歴代住職 加藤 導男
 歴史物語 畠山重忠の強力 菅原啓一郎
 歴史一口メモ(26) 前部 謙蔵
 歴史エッセイ
 信長「大たわけ」のうそ 原 靖雄
 平成22年度 秋の一泊バス旅行
 ー三浦半島歴史探訪
 エッセイ 原敬と民謡木更津甚句
 柳井 達雄
 平成22年度 秋の歴史散歩「歌舞
 伎に登場する鎌倉を巡る」
 エッセイ 私と四国遍路(3) 齋藤 宗久
 倭国の暦雑考(4)
 書紀の暦次第 間淵二三夫
 行政区画の歴史の変遷 鈴木 英男
 稲作の伝来と謎について 木村 高久
 一代の猛将・安藤伊賀守守就の不
 運な生涯 竹村 紘一
 日本国家成立の道程
 ー倭から日本国へ 横山 忠弘
 全国歴史研究会本部 春季研究発
 表大会の報告 竹村 紘一

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
 〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
 鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
 www.bsnet.co.jp/jiku/minzoku/
 ◇380 2011.6 A5 28p
 佐渡びとの神仏信仰と村落 佐藤 利夫
 江戸の本草家亀協従と『北越志』鶴巻 武則
 神林村牧目と九日市の七夕祭 佐藤 和彦
 小報告

旧古志郡東山村(現小千谷市)の
 妖怪話 広井 忠男
 寺泊磯町隧道川の河童伝説 鳴海 忠夫
 寛益寺の仁王様 高橋 郁子
 質問箱 虫送りと虫供養について 金田 文男

事務局だより
 会員の出版物 五十嵐東著『新潟
 県の盆踊り』、五十嵐東編『郷土
 誌八幡マップ』、佐藤利夫監修
 『佐渡の海府風土記一片野尾誌』

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
 〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
 長岡市立中央図書館文書資料室内
 TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊
 ◇48 2011.5 B5 179p
 高津谷城の縄張りについて 鳴海 忠夫
 莊園社会に蔵王堂の創設を探る 鰐淵 好輝
 「近所之義」—古志郡の境界紛争に
 みる中世越後の分国法と在地法 土井 重男
 牧野雪堂の帰国をめぐって 本山 幸一
 東宮本村庄屋 山田家の棟札 長谷川清司
 越後・長岡の和算(数学)の歴史(1) 石田 哲彌
 続・北越戊辰戦争の鉄砲について 内山 弘
 『河井継之助傳』と曾祖父「肥田
 野畏三郎」(3)—北越戊辰戦争の
 草莽隊(中) 吉崎こずえ
 大歓迎に湧いた明治天皇北陸御巡
 幸(1) 小片 莊平
 明治の道中記をよむ—刈羽郡桐沢
 村(長岡市小国地域)青柳家の場
 合 田所 和雄
 旧制長岡中学校長 坂牧善辰と夏
 目漱石 滝沢 繁

「越後の秋」抄
 小金井喜美子の見た長岡 桜井奈穂子
 談話「三尺玉製作の苦心と感想」前田 英丈
 「一九四五・長岡戦災焼失図」
 「一九四五・建物地図」思い出
 しながら 十三 栖吉川の周辺 桜井 修
 東山池田の廃坑と保存活動の展開 恩田 孝重
 長岡市太田地区を紀行する 広井 忠男
 巡見報告
 北越戊辰戦跡めぐり
 —中島から新町界限 堀井 實
 揚北の歴史文化(胎内市)を訪ね
 る 菅原 茂生
 川口地域を訪ねて 山谷 恒雄
 開催報告
 平成22年度古文書解説講座 小林 良子
 第1回長岡郷土史を読む会 青柳 保子
 第1回郷土の歴史資料展示会 田中 洋史
 会務報告／郷土史の窓(1)～(7)

◆新潟史学 新潟史学会
 〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
 新潟大学人文学部史学研究室
 TEL025-262-6830 1968年創刊
 ◇65 2011.5 A5 86p 1000円
 佐渡・岩屋山洞窟の宝篋印塔と中
 世の北東日本海物流 齋藤 瑞穂
 胡人像尖帽の起源—丁家間五号墓
 壁画胡人像解析のために 高橋 秀樹
 研究ノート 柴原偕伎日の表記と
 ヨミについて—栗原遺跡出土の
 墨書土器の人名 桑原 正史
 資料紹介 北魚沼郡池平村桜井家
 文書の整理と概要 菅瀬 亮司
 書評・新刊紹介 新潟県の歴史散
 歩編集委員会編『新潟県の歴史

散歩 本間 恂一

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
 TEL0256-72-6757 年1000円 1978年創刊
 ◇94 2011.4 B5 22p
 座談会 加藤弘明氏を囲んで
 亀井功／阿部トラ／小熊典子／
 本宮京子／小山則子／多賀良
 亀倉蔵六さんについて 金子銚一郎
 西川沿いの歴史 飯田 素州
 アルコール発酵の話 笹口 孝明
 史料紹介 新潟御蔵所の定番詰庄
 屋より苦情一覽 亀井 功
 心に残った研修旅行
 とぎれ・とぎれ 小柳 真治
 「巻郷土資料館友の会」と「巻史
 学会」の合同視察研修旅行 近藤 義衛
 平成22年巻地区学会の動向／郷土
 資料館だより

◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 ◇132 2011.4 A4 20p
 良寛遺墨解説(90) 加藤 偕一
 良寛尊像つれづれ(94) 三森九木
 の良寛(2)「良寛嬉戯図」 三森
 九木筆
 折々の良寛(21)
 弥彦良寛会の楽しい催し 長谷川義明
 平成23年第34回全国良寛会総会
 in 新潟(予告)
 良寛さん今日は!「私の視点」
 全国良寛会総会に寄せて 大矢 良廣
 全国良寛会総会「記念講演」
 會津八一記念館 神林恒道館長
 良寛と越後の文人たち 神林 恒道

歓迎アトラクション 新潟ろうあ
 万代太鼓「豊龍会」／柳本幸子
 声楽家(ソプラノ・リリコ)
 協賛行事
 没後180年記念 良寛遺墨展 加藤 偕一
 没後180年記念「良寛ブロンズ像」
 制作によせて 峰村 哲也
 新潟県良寛会総会 記念講演 良
 寛の「ひとり遊び」の自由な生
 涯は、なぜ可能だったのか(4) 長谷川洋三
 立松和平氏と良寛遺跡を訪ねる最
 後の旅 齋藤 達也
 全国良寛会の歩み(1)
 —胎動からその展開を辿る 齋藤 信夫
 良寛さまを巡る人々の型 松世 勝久
 トピックス／新刊紹介／会報・会
 誌紹介

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 TEL076-262-3236 1986年創刊
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 ◇99 2011.4 A4 6p
 春季特別展「くらし&娯楽の大博
 覧会—昭和とヒストリー 1926～
 1989—」／キーワードでたどる
 昭和
 貸出中の館蔵品 他の施設でも見
 られる歴博の貴重資料／主な刊
 行物のご案内／催事日録／行事
 日程
 れきはくトリヴィア こんなとこ
 ろにもリサイクル!

◆加能民俗研究 加能民俗の会
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1972年創刊

◇42 2011.3 A5 98p
 白山麓西谷小原における若者集団
 天野 武
 白山の山案内人—奥山人の複合生
 業の一端(2) 橋 禮吉
 近代における真宗と女性—城端別
 院善徳寺の女性門信徒の行動と
 変遷を通して 本林 靖久
 九学会連合能登調査と加能民俗の
 会 由谷 裕哉

◆北陸石仏の会研究紀要
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772
 年3000円 1996年創刊

◇10 2011.6 B5 84p
 常願寺川石工製作石仏研究の課題
 と展望 古川 知明
 越前府中の地 西国三十三ヶ所観
 音石仏と西国八十八ヶ所霊場石
 仏について 北村 市朗
 無智念仏行者光導の名号塔を訪ね
 て(2) 滝本やすし
 無智念仏行者光導とその周辺 平井 一雄
 奥能登石仏めぐり 池田 紀子
 富山別院と提起する門信徒 尾田 武雄
 富山市磯部町四丁目の「五如来・
 地藏菩薩」 松井 和子

◆北陸石仏の会会報
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772
 年3000円 1993年創刊

◇38 2011.5 A4 4p
 准胝観音の三界萬霊塔 平井 一雄
 会員報告 数を競う念仏塔 滝本やすし
 北陸石仏の会 第41回例会「加越
 国境の石仏めぐり」報告

◆加能民俗 加能民俗の会
 〒920-0963石川県金沢市羽町3-1
 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1950年創刊

◇154 (12-12) 2011.3 A5 7p
 私の民俗ノートより(3) 前田佐智子

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇51 2011.4 A4 4p
 歴史研究所 平成23年度の事業概
 要／第1回都市調査研究グラン
 プリを受章／新刊紹介『飯田・
 下伊那史料叢書2 建造物1 本
 棟造と養蚕建築』
 リレーエッセイ
 案じても産むは難し 金澤 雄記
 森を眺める 小池美津貴

平成22年度歴史研究助成報告会が
 開催されました／飯田アカデミ
 ア2011／歴史ゼミ／定例研究会
 ／地域史講座 飯田・上飯田の
 歴史／歴史日誌

◇52 2011.6 A4 4p
 第4回 歴史学オリエンテーショ
 ンを開催します／史料紹介 宮
 下家『わが家の日記』—28年間
 書き続けられた日記史料
 2011年度研究計画を紹介します／
 第9回飯田市地域史研究集会／
 飯田市歴史賞2011 候補作品を
 募集します／歴史研究活動を助
 成します／市民研究員募集／飯
 田アカデミア2011

リレーエッセイ 新スタッフ紹介
 北村安裕研究員
 定例研究会／地域史講座 飯田・

上飯田の歴史／歴史ゼミ

◆伊那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
 TEL0265-22-6017 年5500円

◇996 (59-5) 2011.5 A5 50p 500円
 口絵 今宮郊戸神社を遊覧したコ
 ンノート殿下一見つかった殿下
 着座の座布団と顛末記 今牧 久
 近世における婿養子縁組について
 の一考察 塩澤 元広
 アララギの巨匠、齋藤茂吉と下伊
 那(前)一茂吉、三度の来峡と足
 跡 鎌倉 貞男
 本学神(霊)社の創建とその意義—
 平田鏡胤の片桐春一父子宛書簡
 から 手塚 勝昭
 『伊那青年』に見る俳句短歌確信
 運動 竹村 勇次
 中国人強制労働者の連行に思う 村澤 仁
 消えていくことばの文化(18)
 「父祖たちの知恵」 井上 伸児

◇997 (59-6) 2011.6 A5 50p 500円
 口絵 天龍川時又港周辺 原 董
 〈伊那谷地名研究会第9回シンポジウム 天龍
 川と地名—三遠南信地域を結ぶ人びとの絆〉
 天龍川と地名—三遠南信地域を結
 ぶ人びとの絆 原 董
 天龍川上流域の地形・地質の特徴
 と治水事業 青島 重行
 理兵衛堤防の歴史と地名 伊藤 修
 信州伊奈郡の榎木成 林 登美人
 天龍川下流域に生きる上下流の絆
 松田 不秋

〈伊那谷研究団体協議会第13回シンポジウム
 (報告)—伊那谷まるごと博物館・伊那史学
 をめぐして〉
 伊那谷の野鳥—50年間による変化

原田 望
 飯田動物園発、ご当地ヒーロー
 「Zooレンジャー」について 前 裕治
 竜丘の小学から「大道」の痕跡を
 探す 今村 理則
 生物多様性と伊那谷まるごと博物
 館 後藤 澄寿

◆伊那路 上伊那郷土研究会
 〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
 TEL0265-78-6719 年5000円

◇652 (55-5) 2011.5 A5 40p 500円
 古道「黒澤道」復元への取り組み
 (1)—「風越ロマンス街道」づく
 りをめざして 宮原 達明
 もう一人の理想的愛子(2)
 —伊勢路の如水 桃沢茂春 橋本 俊明
 農家の一年 寛政十二年「歳内日
 記覚」を読む(2) 三浦 孝美
 美篤笠原の「開田規約」のこと 上柳優二郎
 思い出の人・思い出の事(7) 池
 田寿一先生(歌人・教育者・道
 元研究家) 桃澤 匡行
 「大正時代の東駒ヶ嶽登山案内」
 を拝読—山梨県南アルプス市方
 面からは 田畑 真一
 伊那谷のクマタカ・オオタカ
 —民俗の窓を通して(11) 吉田 保晴
 上伊那の野外彫刻(83)
 立像(辰野美術館) 吉澤 正昭
 文化短信
 『村の老人学級』楽生学園 氣賀澤厚典
 考古あれこれ(11) 奈良県御所市
 における近年の発掘調査 濱 慎一
 師匠の背中(2)より(31) 苗取り 若林 徹男
 ◇653 (55-6) 2011.6 A5 40p 500円
 《自然と人間との関わり特集》
 箕輪町の哺乳動物 関谷 圭史

伊那谷のカッコウ
 一民俗の窓を通して(12) 吉田 保晴
 『伊那路』等に見る「三六災害」発
 生当時の記録(1) 『伊那路』編集部
 良寛さんを訪ね中国の旅(1)一良
 寛さんは日中友好の架け橋を築
 く 小原 洋一
 古道「黒澤道」復元への取り組み
 (2)一「風越ロマンス街道」づく
 りをめざして 宮原 達明
 上伊那の野外彫刻(84)
 日本のふるさと(大芝公園) 吉澤 正昭
 古文書の窓(100)
 嘉永三年村書上帳(上新山村) 池上 正直
 師匠の背中(2)より(32)
 「むら」なおし 若林 徹男

◆伊那民俗
 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊
 ◇85 2011.6 B5 8p
 人の神格化と国学ネットワーク 森本 一彦
 柳田国男の『信州随筆』研究(20)
 「青へほの木」の習俗 折山 邦彦
 伊那近代思想史研究会(31) 森本
 州平日記より「銅像問題とは
 …」 市瀬 久子
 飯田の祇園祭
 一横田正勝氏の調査報告から 松上 清志

◆信濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.com
 ◇736 (63-5) 2011.5 A5 86p 900円
 安曇野風土記 歳時習俗 曆 攷一

信州安曇野の年中行事 四季
 折々の歳時習俗と民間暦につい
 て 草間 美登
 経塚三基の共通・相異点一中野地
 方の発掘成果を史的に見て 田川 幸生
 備荒貯蓄制度成立をめぐる基礎的
 研究(下)一松本藩とその預領を
 事例として 田中 薫
 仏法の渡来年次をめぐる一視点
 (中) 石川 勝義
 ◇737 (63-6) 2011.6 A5 82p 900円
 《隣県特集号
 隣県地方史学界の動向一平成22年(2010)》
 群馬県地方史研究の動向
 深澤敦仁/築瀬大輔/丑木幸男
 岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
 埼玉県地方史研究の動向
 石坂俊郎/新井浩文/実松幸男
 富山県地方史研究の動向
 古川知明/松山充宏/太田久夫
 山梨県地方史研究の動向 西川広平/高橋修
 新潟県地方史研究の動向
 石原正敏/相沢央/前嶋
 敏/渡部浩二/田邊幹
 長野県地方史研究の動向
 桜井秀雄/福島正樹/山崎会
 理/田玉徳明/細井雄次郎

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊
 ◇147 2011.6 A5 79p
 長野県における温泉地成立と地域
 的展開 滝澤 公男
 横尾氏のことども
 一『長享日記』を手がかりに 堀内 泰
 発掘された中世墓

一東信地域を中心として 尾見 智志
 奈良尾の大姥様と富士嶽一大姥様
 は「奪衣婆」ではなく「石長比
 売命」 宮本 達郎
 伝「盗人窟」迷想(2)
 一枕草子と駅伝路東山道駅家 岡村 知彦
 窓(5)
 江戸時代に発掘された古墳 倉嶋 勝夫
 連載講座
 古文書解説講座 第140回 寺島 隆史
 23年度東信史学会総会報告 事務局

◆長野県民俗の会会報
 〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5
 巻山圭一方 TEL0263-62-6535 年5000円
 www.janis.or.jp/users/folk/
 ◇32 2011.4 A5 85p
 柳田民俗学の特徴とその継承一
 『明治大正史世相篇』を通して 松崎 憲三
 ほんほんさんのこと
 一ささら踊りにもふれながら 木下 守
 妊娠祈願の方法
 一魂生神社を事例として 安藤 有希
 松本市島内の御嶽信仰系神社
 一犬飼山御嶽神社と八滝神社 小原 稔

◆長野県民俗の会通信
 〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5
 巻山圭一方 TEL0263-62-6535 年5000円
 www.janis.or.jp/users/folk/
 ◇223 2011.5 B5 8p
 デマから都市伝説の発生過程を考
 える一『消えるヒッチェハイカ
 ー』を参考に 中村 慎吾
 葉書でつぶやくコーナー 大震災
 通信(1)一ともかく揺れた!? 倉石あつ子
 書籍紹介 日本木地師学会編『信
 州秋山郷 木鉢の民俗』 事務局

◆岐阜市歴史博物館だより
 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
 内 TEL058-265-0010 1985年創刊
 ◇77 2011.4 A4 8p
 吉祥天女像 国宝 薬師寺所蔵
 企画展「古地図一地域から世界へ
 一」
 特別展「国宝・薬師寺展」
 加藤栄三・東一記念美術館
 開館20周年記念「加藤栄三・東
 一展一感謝を込めて」
 開館20周年記念「土屋禮一展一
 なつかしさの窓から一」
 博物館ニュース 博物館オリジナル
 グッズ一新商品ができました
 平成22年度受贈資料
 館蔵資料紹介 美江寺土鈴(蚤鈴)

◆静岡県近代史研究会会報
 〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
 情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
 ◇392 2011.5 B5 6p 200円
 5月例会レジュメ 「平和のための
 富士戦争展」23年の歩みから 加藤 善夫
 6月例会レジュメ
 浜岡原発の〈いま〉 北原 勤
 全史料協関東部会 第260回例会参
 加記 川上 努
 ◇393 2011.6 B5 4p 200円
 「藤枝の米騒動」例会報告から2
 県下の1918年米騒動はいつ始ま
 ったか 清水 実
 新刊紹介 小田部雄次『天皇と宮
 家 消えた十一宮家と孤立する
 天皇家』 村瀬 隆彦

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会
 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55

篠原旭方 TEL054-286-8659
 ◇131 2011.6 B5 12p
 平成23年度総会
 第92回研究会 遠藤照夫氏の「日
 影沢金山の金堀衆の屋敷跡」の
 概要／前林寛彦氏の「白村江の
 戦いと蘆原の国」の概要／和田
 嘉夫氏の「日本左エ門について」
 の概要
 近江八話(7) 勢多唐橋 鈴木 康弘
 地球のリズムとは 田中 春二
 十返舎一九の人物像とNHK・T
 V「歴史秘話ヒストリア」その
 後 篠原 旭

◆静岡県民俗学会会報
 〒424-0053静岡市清水区波川1-9-6-101
 homepage3.nifty.com/s-folklore/

◇139 2011.4 A4 6p
 平成23年度 総会・大会案内
 民俗学講座「コメの民俗一稲作と
 人々の暮らしー」及び例会「日
 向の七草祭」見学会の実施報告
 多々良典秀
 第4回卒業論文発表会報告 大嶋 善孝
 調査報告ー供物・食物
 漆作り二題 富山 昭
 シリーズ食(15) 伊豆西海岸の物
 日の食 押し寿司とスワイ(酢
 和え) 外立ますみ
 静岡の民俗語彙・方言短信 外立ますみ
 博物館情報／まつり・イベント情
 報

◆あつた 熱田神宮宮庁
 〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
 ◇230 2011.4 A5 32p

熱田社の和歌と文学(31)
 一佐野紹益『尾張八景』歌 八木意知男
 熱田社の学統(3)
 多田南嶺との関係 太田 正弘

◆安城民俗 安城民俗談話会
 〒446-0026安城市安城町清水23-4 川合
 正治方 TEL0566-76-6638 1993年創刊

◇36 2011.6 B5 10p
 故宮本アサ子さんの手紙 川合 正治
 松平太郎左衛門家と上条隼人佐吉
 渥美 精一
 私に貴重な櫃(カヤ)の話をしてく
 れた方々へのお礼 神原 啓修
 親鸞・夢告の場(六角堂)で想うこ
 と 加藤 研一
 談話会活動記録(平成22年12月8日
 ～23年5月11日)

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
 TEL0569-65-2880 1966年創刊

◇91 2011.5 A5 80p 500円
 内海岡部地区山車、からくり人形
 中村 祥

松山があつて鹿がいた
 一知多の鹿狩 木原 克之
 豊浜漁港の矢穴石(2) 高田 祐吉
 明智光秀は信長の武将か?(後) 安原 俊美
 伊勢湾に大野城は二つあった 村田 修
 源義朝公内海上陸の地を推論する
 大岩 隆
 樹木と神社の話 加藤喜代吉
 疎開地・野間での思い出 木戸 武彦
 私の戦争体験記 内田 茂
 南十字星(1)
 ハルマヘラ鳥従軍記 内田 白花

内海の四天王 内田 辰男
 みなみちたボランティアガイドが
 案内する尾張の豪商・前野小平
 治ゆかりの地を訪ねて(2) 丸山 専治
 南知多町誌 医王寺物語／乃野神
 社／千賀家の家紋
 南知多の人 内海薫(写真家) 中村 祥

◆年報 中世史研究 中世史研究会
 〒464-8601名古屋市中種区不老町
 名古屋大学文学部日本史学研究室気付
 TEL052-789-2228

◇36 2011.5 A5 134p
 鎌倉期の地方神社と幕府一河上社
 における高木氏と神社興行 徳永健太郎
 観応擾乱・正平一統前後の幕府執
 政「鎌倉殿」と東西幕府 桃崎有一郎
 研究ノート 清水寺別当「東室法
 印」について一寛元二年奈良
 坂・清水坂両宿非人抗争の理解
 のために 丹生谷哲一
 書評 末松剛『平安宮廷の儀礼文
 化』 松蘭 斉
 史料紹介 天満本願寺・京都本願
 寺造営記録(各一冊) 安藤 弥

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫
 〒461-0023名古屋市中東区徳川町1001
 TEL052-935-2173 housa.city.nagoya.jp

◇82 2011.4 A4 8p
 平成23年4月9日(土)～5月22日(日)
 展示室1・2 臨時企画 春季
 特別展 徳川将軍と尾張の殿さ
 ま
 平成23年5月28日(土)～7月24日
 (日) 展示室1 建中寺と尾張
 徳川家ゆかりの寺院一法然上人
 800年大遠忌／展示室2 名古

屋の天王まつり
 平成23年7月27日(水)～9月25日
 (日) 展示室1 没後400年
 加藤清正の時代／展示室2 城
 造りあれこれ
 閲覧室だより「レファレンスの窓」
 城下町の「文教地区」 松村 冬樹

◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円

◇553 (51-3) 2011.5 B5 8p 600円
 熱田神宮の祭事 酔笑人神事 野村 辰美
 調査報告 京都 社寺のまつり
 松尾大社の松尾祭一特に、神幸
 祭「おいで」を中心に 米田 幸寿
 受贈資料紹介／6月のまつり／7月
 のまつり

近 畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
 TEL077-522-8369 年3160円
 www.shiga-bunshin.or.jp

◇135 (35-2) 2011.4 B5 92p 600円
 《特集 滋賀の国宝建築物》
 古代の奈良、中世の滋賀、近世の
 京都ー滋賀は社寺等歴史的建造
 物の宝庫 池野 保
 滋賀の国宝建造物一覧
 全国第3位、県内は文化財の宝庫
 修理に携わって 文化財の価値を
 見出し守り伝える 文化財建
 造物修理主任技術者の仕事 菅原 和之
 文化財の担い手たち
 直した箇所が分からないのが文
 化財修理 宮大工 渡博昭さ
 ん

世界の建築を見て修行／夢は三重塔の建立 宮大工 窪田義丘さん
 研修所でほかの若手と競い合意識を自覚 檜皮葺士 河村守左史さん
 七人七様のやり方を学び、自分の壁を仕上げる 左官 津田弘道さん
 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(1) 比叡山三塔回峰行者道 加藤 賢治
 四季をめぐる健康食 春編 旬の食べ物で体調を整えましょう 小川 久子
 繊維力 滋賀の織物—その技と感性(2) 綿クレープの純 森下あおい
 興味津津 私の近江(11) 農家アート祭りとネオバルビゾン「湖北派」 MOTOKO
 現代滋賀ブランド(4) 能の舞台・近江 街道を歩き、舞台に思いはせる 古の旅人と観る琵琶湖の風景 古田 紀子
 編集長対談 湖に生きる(40) 常盤津の人間国宝 常磐津一巴太夫さん 根津眞澄／馬場和実
 滋賀文化事情 「やさしさ」と「おもいやり」がひびきあい社会へワーク・ライフ・バランスと男女共同参画 園田三恵／上井勝平
 滋賀文化事情 本物に出会い子どもたち 連携授業を支える しが文化芸術学習支援センター 馬場 輝代
 近江人物伝(8) 明智光秀 自己の美学で戦国時代を駆け抜けた智将 木村 至宏
 湖国街・コミ(2) 自然の中の“体験”を売ろう“満足”を売ろう—「そうだ 滋賀にも、行こう。」

に 藤澤 武夫
 滋賀の山を食べる(1) チャレンジする縄文人でありたい 安田 陽介
 近江の海 おーい老いと呼んでみる(24) 祈りと呪い 熊谷栄三郎
 湖国レディス・アイ(24) 十一面観音に会いたい 異色の本に刺激されて仏像巡り 寺内 繭
 北から南から 鈴木強／森友美子／清水貴子／奈良薫／源野孝彦／編集室
 新刊近刊
 近江古代史への招待 松浦俊和
 滋賀の伝説と民話「旅学問」 渡邊守順／斉藤裕子
 談話室(4)
 近江の山の花を訪ねて 山本 武人
 あきとせつ(1) 竹林の夜 藤本恵子／中西文彦
 ◆民俗文化 滋賀民俗学会
 〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円
 sigaminzoku.fc2web.com
 ◇572 2011.5 B5 12p 400円
 震災の名称について 粕渕 宏昭
 ホウキ星(彗星)の凶兆 吉岡 郁夫
 小谷落城と浅井一族の伝承(7) 一秀吉、長浜築城と入城 馬場杉右衛門
 虎御前山城と信長の用兵 長谷川博美
 探訪・姉川古戦場(4) 一遠藤直経と戦場の母子 馬場杉右衛門
 滋賀の石造文化財(中世)の概観について(12) 福澤 邦夫
 川床について 粕渕 宏昭
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き書き一代記(1) 菅沼 晃次郎
 ◇573 2011.6 B5 12p 400円

科学技術の進歩と普及を平和に活用せよ—戦争を放棄した日本人の願望 菅沼晃次郎
 新発見 火山城址(中世) 菅沼晃次郎
 一犬山郡多賀町保月 長谷川博美
 小谷落城と浅井一族の伝承(8)一 浅井家臣団と秀吉側室淀君 馬場杉右衛門
 滋賀の石造文化財(中世)の概観について(13) 福澤 邦夫
 桑酒について 粕渕 宏昭
 箸箱について 粕渕 宏昭
 二等兵比島従軍記(5) 一ルソン島便り(葉書) 馬場杉右衛門
 飽海(あくみ)風土記 田中 春二
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き書き一代記(2) 菅沼晃次郎
 ◆古代史の海 「古代史の海」の会
 〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
 中村修方 FAX075-392-3743 年4000円
 www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
 ◇64 2011.6 A5 100p 1500円
 巻頭言 夢とアマチュア 中村 修
 古代日本における治天下大王の出現(前)—倭王武はなぜ冊封体制から離脱したのか 鮫島 彰
 門脇禎二『邪馬台国と地域王国』を読む 中村 修
 会員ひろば
 太宰府の日本国王「良懐」 河越 尚司
 アンデス通信(17) 市木 尚利
 会員の著作《自著自解》
 『氷塊する古代』 寺坂 国之
 書評 西川寿勝・田中晋著作『倭王の軍団』 上遠野浩一
 『広志』が示す邪馬台国 渡部 正路
 上代特殊仮名の根本的解明(18) 坂田 隆
 卑弥呼と宇佐神宮比売大神(4) 鷺崎 弘明

明賀猛さんをしのぶ 片山 秀雄
 ◆史迹と美術 史迹美術同致会
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
 FAX075-441-3159 年8000円
 ◇814 (81-4) 2011.5 A5 34p 915円
 善光寺信仰の展開(1)—中世勧進 聖と“分身”の研究を中心として 小野澤 眞
 陸前名取の熊野信仰図絵をめぐる(上) 太田 将勝
 鬼瓦百選(93) 小林 章男
 第956例会 吉野山付近の文化財を訪ねる 東 暉
 ◇815 (81-5) 2011.6 A5 34p 915円
 善光寺信仰の展開(2)—中世勧進 聖と“分身”の研究を中心として 小野澤 眞
 鬼瓦百選(94) 小林 章男
 鬼瓦百選(95) 小林 章男
 被災地宮城の文化財破損のいくつか 本田 義幾
 第957回例会 長崎県の石造物と文化財 嘉津山 清
 第957回例会翌日会 上五島へ 嘉津山 清
 新刊紹介 『日本の護符文化』(千々和到編) 丸山 貞
 ◆地名探究 京都地名研究会
 〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636
 年3000円 2003年創刊
 www.geocities.jp/Kyotochimei/
 ◇9 2011.4 A4 81+7p
 巻頭言 地名を疎かにすれば国は滅びる 吉田 金彦
 応神歌謡「ちばの葛野」の研究 吉田 金彦

京都の自然地名・災害地名(2)―
盆地中央部・巨椋池干拓地とそ
の周辺地域の例 池田 碩
京の「アガル・サガル」(付イル)
考(続) 糸井 通浩
源頼政の逃げ道―頼政道 齋藤 幸雄
城陽の地名を考える 福富 城介
京丹後市旧3郡の地名と歴史を考
える 富貴 高司
間人(タイザ)考 三浦 到
籠神社の籠について 黄 當時
研究ノート
善長寺町の若き本居宣長
―在京、青春日記 山岸 泰正
難解地名・一口考 綱本 逸雄
記録 平成22年度京都地名研究会
活動報告
語形の廻行―風土記の地名起源譚
内田 賢徳



* 吉田金彦氏の「地名を疎かにすれば国は滅びる」は、竹島や尖閣(魚釣島)を巡る政府の外交姿勢を批判したものであるが、そのタイトルイメージの延長で、池田碩氏の「京都の自然地名・災害地名」を興味深く読んだ。池田氏は、災害現場の調査をする際には、かならず詳細な地名が多く入った地図を持参するという。地名にはその土地の生い立ちが記憶

されているからだ。たとえば、昭和初期まで山城大池として親しまれてきた「巨椋池」は、第二次大戦中に食料増産の目的で干拓されて豊かな水田地帯に代わり、そこが盆地の底であることは忘れ去られてきた。ところが、1953年の台風による大洪水によってそのことを思い知らされることになる。大震災を受けて、災害危険予測図(ハザードマップ)の重要性がいわれているが、地名研究の視点を加味することを忘れてはならない。

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部 小林啓治研究室
2008年創刊
◇4 2011.5 A5 123p 1000円
インタビュー 戦後沖縄における
一教員の経験と実践 青年会活
動・教育運動・石川宮森小ジェ
ット機墜落事件―豊濱光輝氏に
聞く 櫻澤誠/真栄平房昭
護国神社の「地域」性について
―滋賀県の事例を中心に 白川 哲夫
地域社会と融和運動における「崇
仁教育」の位置―中嶋源三郎の
足跡から考える 山本 崇記
書評 中村哲也著『学生野球顕彰
とは何か―自治からみる日本野
球史』 富永 望

◆洛北史学 洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5256 1999年創刊
◇13 2011.6 B5 105p
明末の経略と督師―督撫制度との
関わりから見た 辻原 明穂

6世紀エジプトの単性論派―分離
教会成立に関する一考察 貝原 哲生
研究ノート ヘッセンにおける官
吏としての顧問官の誕生 西川 裕章
書評
上杉和央著『江戸知識人と地図』
有坂 道子
田中希生著『精神の歴史―近代
日本における二つの言語論』小路田泰直
岡本隆司・川島真編『中国近代
外交の胎動』 望月 直人
新刊紹介
下垣仁志著『三角緑神獣鏡研究
事典』 藤原 光平
Owen Nickerson Denny著 岡
本隆司校訂・訳註『清韓論』石田 徹
虞和平・胡政主編『招商局与中
国現代化』 王 藝穎
大会報告要旨

◆泉佐野の歴史と今を知る会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
◇281 2011.5 B5 8p
佐野安船(現 船)サノヤス・ヒシ
ノ明昌) 創業者佐野谷安太郎
の足跡 横井 昭武
戦国期の長滝・根来寺・高野山に
関する新史料 廣田 浩治
聞書 佐野の伝承 籠池・浦太夫
吉本旭/北山理

◇282 2011.6 B5 12p
熊野古道の旅(第17回) 北山 理
第17回熊野古道の旅に参加して 西田 直子
鶴原荘の領主佐竹氏の文書紹介
(1)―東京大学所蔵小笠原文書
の佐竹宗三書状 廣田 浩治

◆WEAVE 『貝塚市の70年』編纂日より
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7125 2010年創刊
◇3 2011.4 A4 4p
編纂日より速報 第2回「絵図・
地図などから読み解く貝塚 そ
の1」
吉道前市町への聞き取り調査
「貝塚市の70年」展のお知らせ

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
◇321 (28-5) 2011.5 B5 12p
浪速今昔百景(4) 平野の大念仏 川村 一彦
第296回例会報告 「羽柴秀吉と鳥
取城攻め」田村紘一氏/会員講
座(第2回)「祭の掛け声」中澤
祐一氏
東日本大震災との遭遇日誌 松坂 定徳
見学会報告 平成23年4月9日(土)
兵庫歴史研究会との合同見学会
「園田・田能遺跡・猪名寺廃寺・
御願塚を巡る」吉川三郎氏

◇322 (28-6) 2011.6 B5 12p
浪速今昔百景(5)
住吉さん(住吉大社) 川村 一彦
5月例会報告(第297回)「仁徳天皇
について」岩谷隆行氏/古文書
講座(第127回)「鮎川村分米仕
訳覚」石川道子先生
東日本大震災との遭遇日誌 松坂 定徳
大坂歴史懇談会見学部現地見学会
報告書 テーマ「佐紀超昇寺か
ら奈良万葉の道をゆく」 入野 清

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212

◇65 2011.6 A5 92p

《酒井一會長追悼号》

酒井一先生を偲ぶ会

略歴の紹介 松尾 寿

酒井一君を偲ぶ 中村 哲

酒井一先生を偲んで 勝山 清次

酒井一さんの思い出 猪飼 隆明

酒井一先生を偲ぶ 藪田 貫

惜別の辞 鈴木 登

龍谷大学酒井ゼミを代表して 永田 光男

弔電、弔辞

お礼の言葉 酒井 妙子

酒井一先生を偲ぶ会出席者名簿

皆さんから寄せられたメッセージ

新聞各紙の訃報記事

紹介 『大塩平八郎の総合研究』 若尾 政希

新刊紹介 酒井一著『なにわの歴史八景』 松永 友和

◆かいづか文化財だより テンブス

貝塚市教育委員会

〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇45 2011.5 A4 8p

貝塚市の新しい登録文化財

寺田家住宅／登録文化財とは

孝恩寺の仏像一如来像(2)

薬師如来

古文書をひも解く

北前船(きたまえぶね)と貝塚

古文書講座「卜半斎了珍と願泉寺」

平成23年度貝塚市歴史展示館企画

展のお知らせ 「貝塚市の70年」

展

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円

◇329 2011.5 A5 22p

河童の文化史 平成期(10) 和田 寛

◇330 2011.6 A5 24p

河童の文化史 平成期(11) 和田 寛

「河童文庫」増加図書目録

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊

◇53 2011.4 B5 117p

巻頭言 椋本 進

河内長野市に残る城塞跡 竹鼻 康次

明治36年発行「河内鐵道線路案内」

の挿入写真・図等について

松本弘(裕之)

髪結床仲間の訴え 松尾巴留美

地蔵の辻にある瓦の佛像 井上 元良

河内長野の産業革命—南海高野線

の発展史を中心にして 今道 幸夫

明治44年発行「楠氏遺跡録」の挿

入写真・図等について 松本弘(裕之)

菊水台監視哨の再考

一新資料の追加 井上 元良

「楠氏遺跡里程標」を読む 玉城 幸男

甲田地車と錦織神社

秋季大祭地車陳列順の関係 伏井 邦彦

文楽紀行

—河内長野を中心にして(2) 椋本 進

鬼住村研究 明治維新と鬼住村・

天誅組の乱と西南戦争 中筋喜春(喜昭)

続 日本一美しい墓地都市(墓地と

の共生) 浅井 五郎

第11回知ったのはりまっか?河内講

座要項 椋本 進

平成22年度事業報告 井上元良／今道幸夫

河内長野市委託事業について 椋本 進

河内長野市文化連盟事業報告

(平成22年度) 椋本 進

記念事業委員会報告(平成22年度)

安原 幹也

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇738 2011.5 A4 10p 300円

三重県北部(富田・四日市・津)の

近代建築—実業家たちの建築遺

産 川島 智生

奈良県北東部の古寺と文化財

一般若寺から大柳寺・狭川へ 関根 俊一

◇739 2011.6 A4 8p 300円

観世座—もう一つのふるさと 池田 淳

京田辺周辺の仏像 赤川 一博

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会

〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊

◇8 2011.6 A4 4p

大阪府における同和地区の共同浴

場について(平成23年度5月例

会発表要旨) 白石 太良

平成23年度総会報告 田中 明

◆左海民俗 堺民俗会

〒590-0144堺市南区赤坂台1-46-9
山崎琢磨方 TEL072-298-6331 年3000円

◇136 2011.5 B5 12p

わが故郷 西高野街道を歩く 大森 治

《特集 雛人形・鯉のぼり》

小谷家の雛人形 小谷 寛

雛人形・鯉幟・登り猿 堀田 椒子

鯉のぼり 川村 淳二

例会報告と一口メモ

11月特別例会報告(11月4日)

晩秋の美原 河内鑄物師の里

を訪ねる 光田三生／井上寛和

11月特別例会報告(11月2日)

熊野古道Ⅱ 佐原 浩二

12月特別例会報告(12月12日)

竹内街道・長曾根と金岡の街

あるき 川村 淳二

12月特別例会報告(12月2日)

鳥見山から長谷寺へ 佐原 浩二

1月特別例会報告(1月16日)

中高野街道、平野から松原を

歩く 山崎 琢磨

1月特別例会報告(1月28日)

神戸初詣・八宮巡り 川村 淳二

2月特別例会報告(2月20日)

西高野街道を歩くⅡ 山崎 琢磨

3月特別例会報告(3月2日)

熊野街道Ⅲ 佐原 浩二

元会長山口博さんの思い出 生駒 道弘

山口博先生を悼む 川村 淳二

訃報 田中仁様をお偲びして 濱田美代子

訃報 田中仁様を偲んで 角井 綾子

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959

homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/

◇279 2011.4 B5 12p

孝謙女帝と藤原仲麻呂 荊木 美行

新しい古代の歴史—年代測定法の

進歩(1) 極微量の炭素で探る

縄文時代 石塚 一郎

津波被害は繰り返す 石塚 一郎

◇280 2011.5 B5 10p

光明皇后と長屋王 水谷 千秋

天理市北部の遺跡を訪ねる 山口 久幸
如意谷銅鐸出土と箕面市立郷土
資料館 古高 邦子
◇281 2011.6 B5 20p
4・5世紀におけるヤマト政権を
めぐって—南朝冊封体制と倭の五
王 荊木 美行
新しい古代の歴史—年代測定法の
進歩(2) 炭素14年代測定法の
最前線 石塚 一郎
第23回定期総会／読書室 『ヤマ
ト王権(シリーズ日本古代史2)』
吉村武彦

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学人文学研究科 市沢哲研究室
1951年創刊 www.soc.nii.ac.jp/historia/
◇225 2011.4 A5 109p 800円
豊臣期大名権力の変革過程
—備前宇喜多氏の事例から 森脇 崇文
近世前期における幕府検地と商品
作物 本城 正徳
わたしたちの文化財
河合遺跡—地方官衙の発見 芝田 和也
書評

永松圭子著『日本中世付加税の
研究』 盛本 昌広
天野忠幸著『戦国期三好政権の
研究』 山田 康弘
桃崎有一郎著『中世京都の空間
構造と礼節体系』 水野 智之
仁木宏著『京都の都市共同体と
権力』 桜井 英治
新刊紹介 京都市歴史資料館編
『叢書京都の史料11 淀渡辺家
所蔵 朝鮮通信使関係文書』 鄭 英實
報告

誉田御廟山古墳への立ち入り 岸本 直文
◇226 2011.6 A5 96p 800円
二部大般若経写経事業の財政とそ
の運用 市川 理恵
研究ノート 室町期朝廷儀礼の支
出構造—恒例公事を中心に 久水 俊和
新刊紹介
谷昇著『後鳥羽院政の展開と儀
礼』 曾我部 愛
家近良樹・飯塚一幸編『杉田定
一関係文書史料集』第一巻 高島 千代

2011年度大会報告要旨

考古・部会報告 藤田道子／三好玄
考古・個人報告 川内 春三
古代・部会報告 二星 祐哉
古代・個人報告 山田浩之／岩村彩子
中世・部会報告 末柄豊／萩原大輔
近世・部会報告 鎌谷かおる／水谷友紀
近世・個人報告 野村 玄
近代・部会報告 松岡 弘之
近代・個人報告 中村元／佐藤太久磨
報告 東日本大震災における歴史
資料の被災状況と保全・救出活
動の経過報告 大阪歴史学会企画委員

◆枚方市史年報

枚方市立中央図書館市史資料室
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
TEL050-7105-8154 1996年創刊
◇14 2011.4 B5 70p
市史編纂委員長福山昭さんを悼む
服部 敬
三浦家所蔵法隆寺文書から見た寺
辺所領の経営—作手と領主 梅村 喬
茄子作の村落秩序と偽文書(上)
—近世宮座の勢力抗争 馬部 隆弘
事業概要 平成21年度事業

◆会報むろのつ「嶋屋」友の会

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊
www.muro-shimaya.jp
◇18 2011.5 B5 42p
誌上インタビュー
風景とまちづくり 中村 良夫
《特集 風景学事始め》
風景の変化 千田 稔
瀬戸内海の風景変化と港町のかた
ち 岡本 哲志
鞆の浦の文化的景観 戸田 和吉
日本絵画の風景表現 柏山 泰訓
町並み探訪(18) 仁尾 八木 雅夫
水で繋がれた歴史の中で(4)
津長の湊 岩井 忠彦
十冊の本を読む(8) 『心より心に
傳ふる花』観世寿夫著 安井 道夫
博物館遊歩(18)
滋賀県立琵琶湖博物館 柏山 泰訓
広告世相視／クロスワードパズル
／室津ミュージアムニュース/
ふれあいフォーラム

◆市史研究さんだ

三田市史編さん専門委員会
〒669-1532三田市屋敷町12-27 まちづく
り部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん
担当 TEL079-559-4466 1999年創刊
◇13 2011.3 B5 119p
第1回祥雲文化セミナー講演録
地域の歴史文化遺産から地域づ
くりを考える 奥村 弘
有馬温泉と羽東の月—非文書史料
からみた古代・中世の摂津国有
馬郡 印藤 昭一
まちの記憶・生活の思い出

追憶の老女たち 松本ゆかり
資料紹介
日本学士院所蔵川本幸民関係資
料
解題 正木 有美
資料目録・資料
生涯学習市史編さん担当
『小寺泰次郎翁歴伝』稿本(4)
(五) 生涯学習市史編さん担当
市史編さん日誌抄

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
◇65 2011.4 A4 12p
《2011年3月発生 東日本大震災緊急特別号》
歴史資料ネットワークの動向／歴
史資料ネットワーク事務局収集
情報一覧
おうちの思い出、まちの記憶を残
すために
速報 東日本大震災 被災地より
(1) 石巻市街地・雄勝町・北
上町 宮城資料ネット・ニュー
ス 第100号(2011年4月7日)
NPO法人宮城歴史資
料保全ネットワーク
速報 東北関東大震災による茨城
の被災状況—歴史資料の救済に
向けて 高橋 修
◇66 2011.5 A4 12p
巻頭言 東日本大震災をどう受け
止めるのか 奥村 弘
速報 歴史学研究会大会で「東日
本大震災に関する緊急集会」開

催
宮城を訪れて一現地レポート 吉川 圭太
「裏打ちワークショップ」の記録
—歴史資料の「町医者」になる
平田 雅一
「裏打ちワークショップ」参加記



*65号、66号のタイトル上部には、「被災地の歴史資料・文化財の保全、震災の経験の記録化と保存!!!」「幅広いネットワークづくりを通じて、歴史・文化を復興に活かす!!!」「被災地から全国へ、歴史学と社会をめぐる普遍的な課題へ!!!」と大きく記されている。文字通りそうした使命感から、関係ネットワークの動向、状況を知るブログなど、様々な情報を集約し、提供している。65号では、NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークの「宮城資料ネット・ニュース」100号から石巻市街地等の被災状況レポートを転載。66号では、今後長期にわたり持続的に歴史文化に支援を進めていくとの会としての考え方と、実際の宮城現地レポートを掲載する。

◆西宮市立郷土資料館研究報告
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1991年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇9 2011.3 B5 93p

影印本「岡本家文書」について
西宮市立郷土資料館

翻刻
影印本「岡本家文書」第一巻
覚日記(寛保3~延享)
数歳萬覚日記帳(延享3~明和5)

◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/

◇36 2011.6 B5 8p
第27回特別展示「西宮の講一つど
いの民俗—」 細木ひとみ
武庫郡・菟原郡の郡境について
—阿弥陀寺の鐘と双盤 俵谷 和子

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇518 2011.5 B5 8p
5月行事 美術館見学 日本百景
・万葉百景展 西宮市大谷記念
美術館
平成23年度 総会開催
西宮神社 えびす信仰展示室開設
平成22年度西宮文化協会決算報告
／平成23年度西宮文化協会予算
東海道新景観(13) 吉井 貞俊

◇519 2011.6 B5 8p
講演会 東西宗教文化の比較
講師・三好誠先生
ちょっと昔の話(15)
おこしや祭 楠井 都志
おこしや祭について 松田 弘子
回想記 吉井 貞俊

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中
印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
◇285 (50-2) 2011.4 A5 48p 600円
《特集 地名研究》
東北地方太平洋沖地震による被災
歴史資料保全活動の現状と支援
募金のお願い
動乱期の青少年教育史話 ああ筒
台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録(3) 森田 修一
地名研究(100)
地名探案 氷ノ山と兵庫
境界と地名(4) 渋谷 武弘
姫路の「別所」地名二題 田中 早春
「常本」の謎 平岡 正之
有栖川宮舞子別邸と賀陽宮須磨別
邸 村上 忠男
兵庫の戦後モダニズム建築 第10
回 豊岡市民会館 笠原 一人
芦屋市立美術博物館に関する質問
状
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事(09年10月30日~12月
11日)
◇286 (50-3) 2011.6 A5 49p 600円
《特集 戦争の記憶と記録3》
中山寺の白露戦病死者追弔絵馬を
めぐ一考察 今西 聡子
由良要塞(由良地区)の案内 原田 修一
動乱期の青少年教育史話 ああ筒
台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録(4) 森田 修一
新刊紹介 渡邊大門『中世後期山
名氏の研究』、同『戦国期赤松
氏の研究』 天野 忠幸
神戸史学会創立記念事業『神戸
・阪神間小字名集』の刊行につ

いて
◆あかい奈良 グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-
3408 年2500円 www.akai-nara.net
◇52 2011.6 A4 46p 500円
現代工芸の「あか」
染め織り 寺川真弓作
特集 会に行きたい 奈良の巨樹
歴史と出逢う場所 五條文化博物館
心の風景 茅の輪くぐり
井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー
仏師 松永忠興氏
あかい奈良が行く古社寺巡礼
東吉野村 丹生川上神社中社
忘れたくない近世・近代 奈良の
人 奈良県を取り戻した人 今
村勤三
大和モノまんだら 扱著一コク・
シゴクということ 鹿谷 勲
記紀の迷い道
神武東征物語と宇陀と水鏡
奈良で出逢った幸せの一皿 摘み
草料理の発想でよもぎを洗練の
ドルチェに
季の瞬 鳴神 矢野建彦／矢野桃苑
◆奈良学研究 奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇13 2011.3 A5 89p
「飛鳥寺の西の楓の下」にみる仏
教における呪術性 甲斐 弓子
近代の奈良における祝賀行事
—祝賀行事を支えた芸妓 勝部 月子
法隆寺の仏前供養具一申・近世の

遺品を中心に(2) 関根 俊一
喜田貞吉と奈良 田畑 久夫
一南北朝正閏問題を例として
史料紹介 帝塚山大学図書館蔵
『奈良大乘院家南院家資料』
について 田中 香織
公開講座記録

◆日本文化史研究 日本文化史学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇42 2011.3 A5 95p
法金剛院道御と高山寺明恵の釈迦
・舍利信仰 赤田 光男
転換期の幕政と民衆一享保改革期
の新田開発政策をめぐって 谷山 正道
室町期食文化研究資料としての物
語草子とその周辺一精進物の系
譜および伊勢貞丈書入本など
小林美和／富安郁子
摩多羅祭における田楽の役割一中
世天台系寺院の修正会を中心と
して 吉村 旭輝
「祇園執行日記」にみる中世祇園
社の綿商売の神人 田中 香織

◆紀南・地名と風土研究会会報
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483
年2000円 1985年創刊

◇48 2011.4 B5 24p
絵葉書に見る熊野風景百年 中瀬古友夫
日ノ御崎の龍王神社 橋本 観吉
熊野川呼称問題の歴史的経過とそ
の背景 田中 弘倫
八丈島島民、近藤富蔵の熊野参詣
吹揚 克之

宮城県・金華山の「ヘチ」ち四国
の「ヘチ」補遺 桑原 康宏
「三栖・三須」地名について 桑原 康宏
地名こぼれ話

◆国際熊野学会会報
〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委
員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊

◇15 2011.4 B5 4p
故郷としての熊野 スワンソン・ポール
平成23年度国際熊野学会大会

中国・四国

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567

◇86 2011.4 A5 132p 1200円
特報 創立当初の浜田市立第二中
学校一混沌とした戦後民主主義
教育の流れのなかで 吉田 豊明
石浦峠から見た幕末の浜田藩 宮本 巖
夭折の詩人「増野三良」小伝(下)
岩町 功
柿本佐留と石見(3)
一その歴史的考察 安達 肇
嗚呼 黒塚

一石見神楽修験調の世界 竹内 幸夫
青春残照(13) 下垣 秀典
町から村から 旭のどすこい(田
舎相撲の人々)一わが町の碑 白川 英隆
町から村から

百姓ばあさんのひとり言 大矢 幸子
町から村から 私の如是我聞 林 喜美子
文芸 帰郷 佐々木徳次
『郷土石見』総目次一ジャンル別
追悼 尾崎健次さんを偲ぶ 竹内 幸夫

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊
◇38 2011.5 A4 10p
関係史料からみた妙善寺合戦
一主に古伝承の検討を通じて 森 俊弘
宇喜多氏研究と関連研究 渡邊 大門
物語直家記伝 乙子の城 第10回
相克(1) 山重十五郎
花房助兵衛のことも 大西 泰正

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方
TEL086-942-6156 年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇123 2011.5 B5 36p
記録・岡山史料ネット講演会 自
治体史編さん後の資料保存活動
の課題 首藤ゆきえ
参加記 「2010年度史料ネット講
演会一各地の資料保存を考える
一」に参加して 日下 隆春
研究ノート 数学者窪田善之介の
算学系譜とその展開 藤田 則之
史料紹介 池田光政筆「池田忠雄
追悼歌」 浅利 尚民
博物館・展示めぐり 岡山県立
記録資料館 第44回所蔵史料展
「家族模様の今昔」雑感 沢山美果子

◆岡山民俗学会会報
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方 年4000円
◇206 2011.5 B5 24p
加藤正春氏 沖繩文化協会賞受賞 吉原 睦
木下浩氏 岡山市文化奨励賞受賞 次田 圭介

特集 岡山民俗館
岡山民俗館の資料整理について 木下 浩
民具の半世紀
一岡山民俗館の資料たち 安倉 清博
あこがれの「民俗館」 山本 美香
岡山民俗館の民具整理を終えて 小林 由佳
みんぞく読書会 次田 圭介
「沖新田・政田地区民俗調査」調
査終了
学会記事
2月例会報告 2月例会発表要旨
非日常食として鯖の伝統的食
習慣とその背景 今田 節子
備前国御野郡社内社石門別神
社と矢坂山伝承について 間野 行治
役員会開催／平成23年度総会・
研究発表大会報告 鶴理恵子／吉原睦
平成23年度記念講演要旨 近世か
ら近代における儀礼と供応食一
讃岐地域の事例から 秋山 照子
平成23年度研究発表大会発表要旨
備前西大寺の祭 オマツト供養
の考察 丸山 憲二
岡山民俗館の民具資料について 木下 浩
我が国における海藻の食文化と
農耕のかかわり 今田 節子
ノートルダム清心女子大学蔵
『廻国供養絵巻』について 小嶋 博巳
追悼 佐藤米司先生 岡田照子／石田寛
有森猛先生を悼む 次田 圭介
追悼 歳森茂先生 次田 圭介
報告書『奈義町滝本の民俗』予約
注文を開始しました／会員異動
／受贈図書・雑誌

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山県岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇122 2011.6 A5 14p
表紙説明 渡辺文三郎『松島』 妹尾 克己
新任のごあいさつ 柴田 一
随想 甘棠碑を思う 廣常 人世
岡山の人物 大谷是空 尾島 治
岡山の自然 高梁川 植田 彰
岡山の文化財 ノートルダム清心
女子大学ノートルダムホール本
館・東棟 上田 恭嗣
わが町・わが村の自慢 郷土料理
かっこう(高梁市川上町)
ふるさとの想い出
さくとう山の学校(美作市)
文化財団ニュース/催しのご案内

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 www.3plala.or.jp/big-eye/
◇159 2011.4 A4 16p
久代殿一宮弾正利吉の物語 田口 義之
備後の神嶋村伝説(2)(遺稿) 小林 定市
道上(道の上とも)地名の考察 坂本 敏夫
四題 主要な行事等は月半ば迄に
／古墳あれこれ／天皇陵は后・
妃の氏地に 根岸 尚克
郷土探訪
めずらしい宝篋印塔・引野塔 三好 勝芳
写真で見る郷土探訪(福山市松永
町) 岡田宏一郎
研究レポート 石田三成の孫を育
てた家康の養女 満天姫の物語
和田恵美子
紀行文 発掘された日本列島(201
0)見学行 坂井 邦典
旅に出る!パート1

長浜・小浜国宝の旅 平井 優三
随想 史跡色々 後藤 匡史
◇160 2011.6 A4 16p
「比志島文書」備後城山について
山手杉原氏考 田口 義之
天武朝の大震災 木下 和司
郷土探訪 根岸 尚克
福山上水道と井戸の謎 田口 由実
青春キップの旅報告 城南浴水
・王朝文化の残照をみる 藤井 好玄
城南の鳥羽伏見紀行(1) 坂井 邦典
三月徒歩例会報告
中世の山田を歩いた 杉本 憲宏
四月バス例会報告 備北東城紀
行一要害桜を愛で、戦国武将
宮氏と歌人若山牧水の足跡を
どる旅 伊達 邦子
春遅い東城町を訪ねて 種本 実
部会報告 部会への参加は楽し
く、知的満足感がある!(1)一
古墳・城郭・歴史民俗研究部会
の三部会に参加して 岡田宏一郎
読者投稿
大震災は日本への天罰か 末森 清司
見上げれば日本 後藤 匡史

◆広島郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊
◇103 2011.5 A4 27p
忠海八幡神社境内に建立された
「池田快堂彰徳碑」 上河内良平
平成22年度総会のご案内/会費納
入のお願い/大林家旧宅取り壊
される
池田徳太郎小伝 菅 脩二郎

藤田家文書 第Q章 藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料(9)
小栗 康治
第二音戸大橋(仮称)
架設工事完了! 小早川 諭
上田先生を偲んで 鈴木千鶴子
平成23年度広島郷土史研究会・総会
資料 吉田 顕治
東日本大震災の記録 上河内 良平
古文書部会の報告/例会の主な感
想/「小さな親切」実行章/例
会報告

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円
◇275・276 2011.4 A5 62p
仁治度厳島神社朝座屋の復元考察
山口 桂巳
大永七年九月の備後国衆和談と山
名理興(下) 木下 和司
鞆の浦弁天鳥石造層塔考 佐藤 亜聖
芸備掲示板
特集展「五月人形とお守り刀」
頼山陽史跡資料館
春の展示「考古学入門—石器と
土器のはなし—」等
広島県立歴史博物館
動向 新聞記事から(2003年7月～
12月)/広島県の地方史研究
伊予史談会交流報告
史跡をあるく 村正信綱祐義碑
◇277 2011.6 A5 56p
講演
瀬戸内の海賊と戦国期の軍船 山内 譲
2010年度芸備地方史研究会大会記事

研究報告要旨
安芸国人小早川氏と室町幕府・
守護 市川 裕士
福宮丸の海難(明治2年)と対米
賠償交渉—永井重介(尾道市
瀬戸田町垂水)関係史料を中
心として 村上 貢
尾道市の廻廊組回覧板史料 天野 安治
史料紹介 宮本常一が撮った瀬
戸内の写真—尾道を中心に 高木 泰伸
参加記 高土 尚子
書評 山内譲編『古代・中世伊予
の人と地域』 光成準治/渡邊誠
新刊紹介
山内譲編『中世の港と海賊』 中司 健一
動向
「地域学創造会議@尾道」参加記
下向井紀彦
歴史講座「広島県の歴史」の記
録/広島県の地方史研究
芸備掲示板
2011年度企画展・特別企画展
福山市鞆の浦歴史民俗資料館
広島市公文書館ロビー企画展
「新着資料展」 広島市公文書館
史跡をあるく 定證上人五輪塔

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇242 2011.5 B5 12p
今月の各地
農村の風景に接して思うこと 大本 静人
鶴山探検記 川上 哲司
平家落人伝説が誕生した時代 大本 静人
浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換
文(4) 福岡 幸司
◇243 2011.6 B5 12p

今月の各地 絆 大坪 和生
創立20周年記念式典・記念講演会
並びに総会報告 鈴木 健次
春のハイキング「畑(葉田)竜王山
と周辺を訪ねる」に参加して 山根 光博
浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換
文(5) 福岡 幸司
三原英学史考(5) 田邊 達雄

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
化の森総合公園 TEL088-668-3636
1991年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇21 2011.3 B5 32p
高知県佐用町の川内ヶ谷層群より
発見された三畳紀後期アンモノ
イド *Arcesetrs*

辻野泰之／重田康成／三本健二
アサギマダラの移動に関する徳島
県の記録(2010年) 大原賢二／山田量崇
徳島県立博物館所蔵「化もの絵巻」
について―百鬼夜行絵巻の一事
例 長谷川賢二
徳島県那賀町で採集されたカトウ
ツケオグモ 清水克洋／清水正仁
坂東治男／山田量崇

徳島県から新たに発見されたエゾ
ヌカボ *Agrosis scabra* Willd. (イ
ネ科) 茨木靖／東衛史

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇83 2011.6 A4 8p
世界的に有名な鉱物

市ノ川鉱山産の輝安鉱 中尾 賢一
Culture Club
タンポポ調査が終わりました 小川 誠
特別陳列 博物館の宝もの
野外博物館
夏だ！浜辺へ行こう！ 茨木 靖
情報ボックス 約40年ぶりに牟岐
町で確認されたアンモナイト化
石 辻野 泰之
Q&A 徳島にも子育てをする川
魚がいるって本当ですか？ 佐藤 陽一

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会
〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
新居浜市生涯学習センター内
TEL0897-33-2991

◇383 2011.4 A5 42p 500円
「天正の陣」考察 近藤 基樹
目で見る古代の伊予
法隆寺勢力の瀬戸内海進出と古
代の伊予(3) 吉本 拓
馬 千葉 富雄
遠藤石山関連の文書資料 喜代吉榮徳

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671

◇163 2011.6 B5 57p
表紙説明 龍馬ベンチ 松下 政司
グラヴィア
「阜月物語り」「三谷原生林」
北山の原生林を考える会から(1) 岡林 長富
荒垣秀雄著『老樹の青春』 広谷喜十郎
「ヨ!! 沢正!!」 安藤 美智
今のわたし 田中小代子
ともこの昭和時代(1) 美空ひば
り(『土佐の民話』市原麟一郎編
から) 藤本 知子

「スナガモリ」夜話(続) 松本 紀郎
岡田以蔵(2) 岩崎 義郎
民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(22) 酒屋会談
久米生太子／藤本知子
「木村久夫没後65年」「ローカルジ
ャーナル 秦史談」(『高知新聞』
より)
チエリ抄(補遺) 永国淳哉／藤本知子
秦の昔話 その26 愛宕山の巻
愛宕山・愛宕神社(「こうち童
話」から) 永野美智子
阜月物語 毛利 俊男
地域交流分科会 秦の山を守ろう
(「秦まちづくり通信」23.3.31か
ら)
戦争も地震も御免 広谷 雅子
三陸巨大地震に寄せて 広谷喜十郎
されど 民謡(詩) 志磨村優子
震災に思う事 山本華与子
図書推薦ご案内 石碑・古文書に
残る津波の恐怖『南海地震の碑
を訪ねて』
東日本の大震災メモ 永国 淳哉
今後の南海地震を考える 広谷喜十郎
岡村庄造氏拓本集から(24) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆市史研究ふくおか
福岡市博物館市史編さん室
〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
TEL092-845-5245 2006年創刊
◇6 2011.3 A4 156p
《『新修 福岡市史』刊行開始記念》
市史刊行記念講演会記録
講演 中世博多の対外交流―韓
国・新安沖発見沈没船をめぐ
って 西谷 正

解説 井上孝治氏の写真が持つ
意味について 有馬 学
講演 想い出の街、福岡―井上
孝治が撮った昭和 井上 一
『新修 福岡市史』が刊行されるま
で 田鍋 隆男
街を生きる「時間」
―「長い尺度の時間」考 重信 幸彦
コラム 承天寺文書「隆延安堵状」
の位置づけについて 三村 講介
「元寇記念碑」の建立―亀山上皇
像に見る明治時代の銅像制作 國生 知子
福岡藩主黒田家の系譜の変遷につ
いて 宮野 弘樹
「近代」における「伝統芸能」の
形成―筑前琵琶の場合(2) 松本 常彦
明治期福岡の出版(第一稿) 首藤 卓哉
博多にみる動物利用の特徴と変遷
―博多遺跡群第35次調査出土の
動物遺存体から
丸山真史／屋山洋／松井章
福岡市史編さん事業活動記録

◆ふるさとの自然と歴史

歴史と自然をまもる会
〒810-0001福岡市中央区天神1-15-30
福岡市赤煉瓦文化館内 TEL092-781-7802
1971年創刊
◇340 2011.5 A4 32p 500円
平成23年度を迎えて 小川 洋
平成23年度を迎えて 高島宗一郎
福岡の通史 第六部・第七部 青木 晃
続・野村望東尼書簡見つかる！
(47) 福岡藩・国家国民を警衛
一和一統・人心一定 天下を一
つに…朝廷へ強訴 小河扶希子
環境の変化と生物 脊振山 福田 勉
神功皇后説話の中の周芳佐麿の津

いしぶみ訪問(132) 長 洋一
 博多・石城山妙楽禅寺 那須 博
 植物と人・生きもの達(13) 井上 晋
 ソテツの話、いろいろ 大野満壽子
 黒田別邸の四季 青木 晃
 福岡の歴史を楽しく学びましょう 安部 道郎
 福岡のむかしばなし(117) 花 シャクナゲ 美術館・博物館等文化施設だより
 /探訪と催し

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
 ◇186 2011.6 B5 20p
 佐賀県重要文化財
 木造准胝観音立像 志佐 惲彦
 島田塚が語る東アジアの中での
 「倭国から日本へ」(1)ー中国と
 の没交流百年の後に 堀川 義英
 唐津の地域民が守ってきた文化財
 (3)ー東松浦郡の旧町村編(3) 中里 紀元
 秀島鼓溪について(1) 嶺川 隆敏
 考古学における唐津地方研究の成
 果(19) 時代の証 田島 龍太
 岡山藩士寺沢家とその周辺 寺沢 光世
 肥前町瓜ヶ坂の山崩れ災害 田中 好美
 春の史跡探訪 近代化産業遺産と
 白壁の街並みを巡る長門・周防
 路の旅 佐々木市太郎
 秋の史跡探訪のご案内 戦国武将
 の夢と野望が渦巻く湖国の旅
 柳井津商人と国森家住宅 松本 和典
 古文書史料 忠鼎公御側筆筒入
 寛政六甲寅年 郷方申付等一件 濱口 尚美

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
 カメラのササキ内 TEL0559-72-2409
 ◇91 2011.5 A5 154p
 随筆
 「交友録」
 一 顕原退博士の縁の人々 松原 剛
 「猫型」人間、「犬型」人間 田森テイ子
 私の感動した短歌(17) 佐々木祥一
 県庁時代の思い出(1) 小島 清
 犬達がいた日々(中) 伴 靖子
 五島歳時記「五島つばき祭り」武羅井 高
 鶴林寺界限 坂口 進
 妻の一言 遠藤 孝男
 「同窓会」 遠山 富子
 五島のツバキを世界へー国際椿
 会議五島プレツァー参加者の
 感想文 比留木忠治
 五十年振りに五島高校で恩師の
 記念授業ー故里の俳人大野き
 ゆうの秀句を鑑賞 内海 紀雄
 史記
 富江騒動始末記(6) 竹山 和昭
 南島路は存在しなかった
 ー山里純一氏への反論 櫻井 隆
 創作 私本・玉の浦納の乱(2) 北川 五郎
 史話 九州に於ける網捕捕鯨の始
 まり(3) 荒木 文朗
 そのほか・トピックス
 ◆国見物語 国見町郷土史研究会
 〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-
 1401 国東市教育委員会 国見分室
 TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊
 ◇30 2011.4 B5 101p 1000円
 《創刊30周年記念号》
 伊能大図について 廣末九州男
 巻頭言

国見町 先覚者の標柱の建て替え
 を行なう 廣末九州男
 講演
 石造文化財よもやまばなし 永松 郁朗
 蟻木禅端禅師とその時代 森 猛
 お接待と弘法大師信仰ー国見町尾
 鬼籠地区を主として 末綱 巖
 特別寄稿
 六郷満山峯入りに参加して 大日向節男
 千燈籠神社の祭典について 永井 輝生
 ベテロ岐部の生涯を高校生に語る
 試み 末綱 巖
 寺川家の人々(2) 寺川駿一郎
 竹田津という地名の由来を再考す
 る 廣末九州男
 大蔵姓 小串氏の研究(10) 小串 信正
 宇佐市内院町の石橋探勝会に学ぶ
 末綱 巖
 特別寄稿 六郷満山を巡って 佐藤 靖之
 コラム 殿様石／二十九集を読ん
 での感想／お知らせ
 平成22年度事業報告

◆石の証言 「平和の塔」の史実を考える会

〒880-0123宮崎市芳土3702-6 黒木啓純方
 ◇43 2011.6 B5 8p
 石の証言 満州里神社 45×60cm
 「平和の塔」の史実を考える会の総
 会を開く
 誌上討論
 会の名称問題についての私見 矢野 勝敏
 新しい史料発見！ 平和の塔 (税田)
 宮崎県建造物文化財指定をめざし
 て 税田啓一郎
 「平和の塔」の史実を考える会
 20年の歩み(3)
 トピックス 映画「弁護士・布施
 辰治」宮崎上映を目指す、全国

初の「君が代起立条例」ー大阪
 府議会、炭鉱記録画が「世界記
 憶遺産」に、生協阿勞連パート
 部会九州地連が平和台へ
 ◇44 2011.6 B5 8p
 石の証言 独逸採石工業会社
 トラバーチン 60×55cm
 第21回 ウォッチング「平和の塔」
 で歴史と平和を学習しませんか
 非日常が日常化した時代(1) 渡部 学
 小説「秋の塔」が描く「塔」建設
 の真実 (税田)
 「平和台公園」のあり方を考える
 (5) 続・宮崎交通観光バスガ
 イドテキスト
 中学校歴史教科書 2012(平成24)
 年度版 古事記・日本書紀・神
 話はどうかかかれているか 土岐 宗春
 「平和の塔」の史実を考える会
 20年の歩み(4)
 「君が代」がさざれる??? 河野富士夫
 トピックス 映画「弁護士・布施
 辰治」について

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会

〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学
 大賀研究室気付 TEL0985-20-2000
 1993年創刊
 ◇25 2011.5 B5 81p
 日向国国富庄那賀郷検田目録と高
 樋宇都宮氏 尾口 義男
 鹿兒島藩における郷村運営と嘸一
 山之口郷と私領都城の嘸を事例
 に 山下 真一
 史料紹介 石川若蔵日誌「大正二
 年 有吉忠一宮崎県知事視察旅
 行随日記」 初木 郁朗
 2010年度宮崎大学・宮崎公立大学

卒業論文要旨

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会
〒897-0004鹿児島県南さつま市加世田内山田6278 G-101 井上賢一方 年2000円
1980年創刊
◇23 2011.3 B5 100p
《佐多特集号》
序 特集にあたって 橋口 尚武
文化温床の地・佐多 二見 剛史
写真名で見る伝説と信仰
平家伝説の地、佐多 中島 俊郎
鹿児島県佐多地域の竹とその利用 濱田 甫
民具から見える生活 有村 澄子
佐多の漁業と海上交通 徳留 秋輝
佐多の農具・田の神・運搬具 井上 賢一
南大隅町佐多の手もみ茶製造と葬送儀礼 牧島 知子
根占の葬送儀礼と墓制 川野 博志
「佐多の民具共同調査」に参加して 川邊 恵久
本土最南端「佐多」の民具文化 下野 敏見
鹿児島の阿吽について 橋口 尚武
「佐多の民具共同調査」実施概要 辺塚に於けるザバチの「群れ崩壊現象」 徳留 秋輝
タイ国産の竹と竹製品 濱田 甫
例会発表要旨 2010年1月～12月

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇139 2011.5 B5 78p
表紙写真解説 宮之城山崎麓アケスメロの太太鼓・小太鼓・鉦 所崎 平
ごって(強張)な踊り 牧 民郎

みんぞく・かわらばん 大津波は
申木野羽島・照島に来た(上) 所崎 平
床次正精覚書
一日本洋画(油絵)の先駆け 所崎 平
みんぞく・かわらばん 大津波は
申木野羽島・照島に来た(下) 所崎 平
鹿児島県関係の戦犯記録について
一「死没者連名簿」を一事例として 大竹 進
みんぞく・かわらばん
相撲道の確立を願って 牧 民郎
桜田勝徳著作集と甌島(1) 小川 三郎
方言—もん(者)・ほ(坊)・ごろ 所崎 平
資料 鹿児島の昔話(3)
一加計呂麻島の民話から 下野 敏見
みんぞく・かわらばん 立待ち 所崎 平
沖縄での蛇の話採録覚書 本田 碩孝
霧島修験 空順法印の日記について(9) 森田 清美
みんぞく・かわらばん 石風呂 所崎 平
会計報告・学会活動報告

◆徳之島郷土研究会報
〒891-7101大島郡徳之島町亀津2918 徳之島郷土資料館内 TEL0997-82-2908
年2000円
◇31 2011.5 B5 106p
徳之島民俗語彙誌(19) 川野 誠治
新民謡でたどる奄美の50年—奄美新民謡リスト・つむぎエッセイ 付 指宿 邦彦
徳之島での蛇(ハブ)の話覚書(1) 本田 碩孝
徳之島採集手帖(船間和子、松村省三、中村憲良、田畑修身、重村功、寶田辰巳、岡村隆博、永岡忠治、松山哲則、徳久正、柳義啓、大村達郎、日高正太)／寄贈図書紹介／会報17～21号ま

での内容紹介
吉満義彦と徳之島 寶田 辰巳
2010年7月25日、8月1日NHKラジオ第二「宗教の時間」放送原稿 哭きうた(葬送歌)の世界 酒井 正子
徳之島の山—その地名考 岡村 隆博
結いの想い 三上 絢子
徳之島民俗文化の事例(2)—勝ウトマツ姫・キヨ姫の伝承 本田 碩孝
徳之島関係文献目録 本田 碩孝
徳之島郷土研究会会員あて「徳之島での鳥研究の全国大会—協力・発表依頼—」 長嶋 俊介

◆季刊 沖縄 (財)沖縄協会
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9 エー・ゼットキューブビル5階 TEL03-3552-2341
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇40 (16-1/2) 2011.4 A4 68p
白保竿根田原遺跡でみつかった2万年前の人骨の意義と今後の社会的活用 米田 穰
亜熱帯沖縄の木や森や里山(2) 森のパイオニア種と植生の遷移 新里 孝和
清ら蝶園開園5周年記念事業 沖縄のソフト・パワーに関する講演会&蝶の絵画展
沖縄のソフト・パワーについて 清成 忠男
沖縄の造形美 宮城 篤正
シリーズ(2)
琉球における宮廷芸能(上) 鈴木 耕太
第32回沖縄研究奨励賞 受賞記念講演
沖縄産プロポリスの起源植物オオバギの発見とその素材化に向けて 熊澤 茂則
近世琉球と中日関係 渡辺 美季

Topics／沖縄協会だより／沖縄覚書

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇184 2011.5 B5 6p
5月定例会レジュメ 明治34年、初の修学旅行—宮古島高等小学校四学年生43名 下地 和宏
6月定例会レジュメ 地機(ずばた)について 仲間 伸恵
3月定例会のまとめ 仲宗根豊見親の「八重山入の時あやこ」を中心に報告 下地 利幸
第17回企画展「東平安名崎の自然と歴史」の紹介 久貝 弥嗣
「思いやり予算」を震災救援・復旧へ 憲法記念日に「アピール」発表 仲宗根將二
第36回定期総会開かれる
—宮古郷土史研究会 仲間 伸恵
宮国定徳・平良好児 両先達生誕百年 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録42
県内諸家寄託文書36
福島県歴史資料館編・刊(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2011年3月 B5 56頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和49年度から刊行を開始した資料目録の42冊目として、4件の寄託・寄贈文書の目録を収録する。大内史之家文書(61点、埼玉県志木市)／関府市家文書 その2(250点、福島市)／杉

内重義寄贈文書 その3(114点、福島市)／官報 昭和期(354点、福島県庁文書)

◆新横須賀市史 通史編 近世
横須賀市編・刊(〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150) 2011年3月 A5 794頁 4000円

2004年から刊行開始された新市史(全15巻)の第9回、通史編の第1分冊。横須賀地域の近世(時期区分と地域の特徴、本書の内容)／徳川家康の関東入国と三浦半島(検地と知行割り、文禄検地と長谷川長綱、三浦按針と対外関係)／江戸時代前期の領主と村々(領主の変遷、村の構造、浦賀の原型、東西浦賀村の分割、内川新田の開発と展開)／浦賀奉行所の成立と機構(浦賀奉行所の成立、浦賀奉行所の機構と機能、役知と預所)／浦賀湊の成立と発展(江戸時代の浦賀湊、浦賀湊での物資流通の諸相、江戸時代後期の地域流通の様相)／湊の商人(東浦賀干鯛問屋の歴史、水揚商人と小宿の活動)／三浦半島の道と交通(人馬継立役・水主役と渡船場、大通行時の負担と三浦半島、助郷負担の拡大)／村の人々(村々の諸相、三浦半島西側の村、武山丘陵南麓の村、三浦半島中央の村、日記が語る村の暮らし)／漁場と暮らし(内海と外海の恵み、地域独特の漁業、捕る・釣る、食文化の広がり)／湊町の人々(浦賀の今昔、浦賀の人々の生業と地域性、湊の維持・管理、浦賀の賑わい)／地域の文化(三浦半島の文人たち、俳諧・文芸の興隆、変革期の社会、旅と娯楽)／地域の信仰(三浦郡の寺社、寺院の組織、信仰の競合、神社支配をめぐる競合関係)／海防の最前線(海防意識の高まり、文化期大名駐屯体制の成立、文政期の浦賀援兵体制、海防強化と天保改革)／ペリー来航(浦賀来航、久里浜上陸、行き交う黒船情報、庶民が見たペリー来航)／幕末維新期

の三浦半島(開国と三浦半島、横須賀製鉄所の建設、旧体制の崩壊)／掲載図版一覧／参考文献および史料集／近世横須賀略年表／浦賀奉行一覧／近世三浦郡寺院・神社・仏堂一覧

◆三田市史1 通史編1
考古・古代・中世・近世
三田市まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当編 三田市(〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町12-27 TEL079-559-4466) 2011年3月 A5 992+57頁

『三田市史』全12巻のうちの第11回、通史編第1分冊。

〔三田のあけぼの〕歴史の舞台としての市域の成り立ち(三田盆地—第四紀地史を奏でる舞台、準平原と武庫川の穿入蛇行、三田地域の活断層と災害地震の記録、人々の生活と地形)／考古学からみた歴史のあけぼの(文字のない時代の歴史、後期旧石器時代の三田、縄文時代の三田、弥生時代の三田、古墳時代の三田)

〔古代・中世の三田〕律令体制下の有馬郡(律令体制の成立、「撰津国租帳」の世界、律令体制の変容)／源平の戦いと公武政権(荘園の成立と内乱、公武政権と荘園の動き)／室町・戦国時代の動向(南北朝時代の三田市域、室町時代の三田市域、応仁・文明の乱とその後、戦国・織豊時代の三田市域、荘園と人々の暮らし)

〔近世の三田〕近世初期の三田(畿内のなかの三田、山崎・有馬氏の古城、一国一城令と松平氏三田藩の侍町、初期の農村)／藩政の成立(三田藩政の成立、九鬼氏三田侍町の成立、三田町の成立と住民構成、麻田藩領の成立、成立期の農村構造、村の存立基盤と諸争論)／藩政の展開(転換期の三田藩、三田町の構造と三輪町、三田藩年貢米の地払制と魚肥流通の展開、麻田藩政の展開、村のたたず

まい、近世農村の展開)／幕末維新期の政治と社会(幕末維新期の三田藩、幕末維新期の三田町社会と金物業、天保期の麻田藩政と大根屋改革、諸産業の展開、幕末維新期における農村の動向)／近世の人とくらし(家と生活文化、芸能と寺社、江戸時代の名所と旅)附表／参考文献一覧／写真・図・表・目次

◆西宮の祭礼(1) 兵庫県西宮市のだんじり調査報告書 西宮市文化財資料56
西宮市教育委員会編・刊(〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2011年3月 A4 90頁

阪神間の特徴的な祭礼「だんじり」(地車)を取り上げ、西宮市域のだんじりを伴う祭礼について行われた民俗調査報告書である。調査の概要／西宮のだんじり(西宮市内の「だんじり」、資料にみるだんじり、だんじりの担ぎ手、西宮地車連絡協議会の活動、今後の祭礼と問題点)／福應神社の祭礼／住吉神社の祭礼／西宮神社の祭礼／越木岩神社の祭礼／公智神社の祭礼／津門神社の祭礼／白山姫神社の祭礼／名塩八幡神社の祭礼／生瀬皇太神

◆後記

7月の末、石巻市、仙台市、福島市を訪ねました。石巻市には親戚が住んでおり、一軒は跡形も無く流失しましたが、仕事に出ていたため無事。もう一軒は1階を濁流が通り抜け、命の覚悟をしたが2階に駆け上がって辛うじて助かったとのこと。大正・昭和の人権派弁護士布施辰治関係資料や、考古・民俗資料など数万点に及ぶ毛利コレクション等を収蔵する石巻文化センターは、1階は壊滅しましたが、幸いなことに資料は2階に保管されていたため、その後の停電で湿気を吸った他はほぼ無傷で、文化財レスキューの手により多賀城市の東北歴史博物館に移管されました。石巻市内は、到るところ瓦礫の山と、破壊された住居・建物が放置されたままで、復興と言う言葉は軽々しく口にできないとの思いでした。宮城県図書館は凡そ100万冊の蔵書の全てが書架から落下、やっとの思いで戻したところ、4月8日の余震で再度半分が落下したそうです。福島県立図書館は開架エリアの天井の一部が落下し、7月15日に児童室など一部分だけで開館に漕ぎ着けた状況です。地震発生時、両図書館とも職員は真っ先に利用者の安全確保に努めたとのこと。福島では風評被害の酷さに心が痛みました。しかし、このような困難な状況の中でも、職員の皆さんがモチベーション高く仕事されている姿が印象的でした。(飯澤)

社の祭礼／曳き出していた神社(大市八幡神社の祭礼、岡太神社の祭礼、甲子園八幡神社の祭礼)／引用文献一覧

◆新・因幡・伯耆の古城跡 他史跡
城と陣屋シリーズ256
尾原隆男著 日本古城友の会(〒544-0005 大阪市生野区中川3-1-7 セントラルマンション2号館507号 尾原隆男方 TEL06-6753-1890) 2011年6月 A5 40頁
小畑城／鷹山城／三十人山の城／一ツ山城／ヨシガ城／半柵城／半作城／半座古城／丸山城／丸瀬城／松尾城／栃谷城／河口城／泊要害／八橋城／大江の城／松崎城／亀形ヶ鼻城／槻下豪族居館／富長館／丸山城／防己尾城／天神山城／布施城／卯山城／打吹城・久米城・倉吉城／四十二城／勝山城／鹿野城・王舎城／甕山城／今木山城・今衣山城／羽衣石城／岩倉城・小鴨城／石井砦・石井要害／七尾城・宝石城

地方史情報 105 2011年(平成23年)10月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757